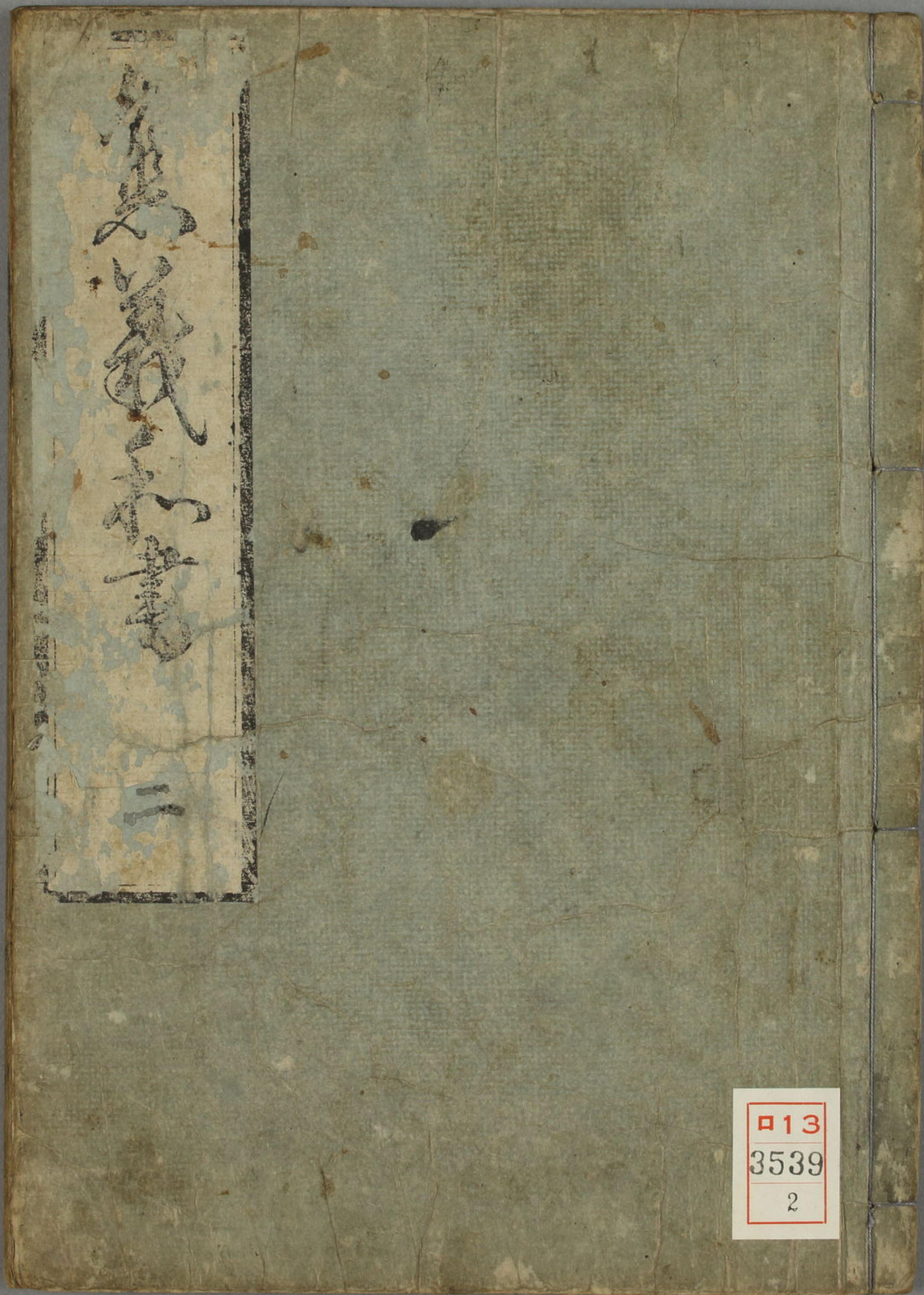




13
3539
2



分類 3日
3月(3)

とらひの故事と同様なりと人々言ふ
返書略すなりと文をみたりと云ふも字を字の書きた
るの故事の史書をみたりと云ふは其の事なりと云ふ
もこの後より云々物なりと云ふも何の益なりと云
ふは其の博識の人なりと云ふは其の事なりと云ふ
もこの通なりと云ふは其の事なりと云ふは其の徳なり
と云ふは其の事なりと云ふは其の事なりと云ふは其の事なり
人の足るなりと云ふは其の事なり

一 来書略す目へ書く事とは何の事なりと云ふ
と云ふは其の事なりと云ふは其の事なりと云ふは其の事なり

返書略す目へ書く事とは何の事なりと云ふ
と云ふは其の事なりと云ふは其の事なりと云ふは其の事なり

人々の用なりと云ふは其の事なりと云ふは其の事なり
と云ふは其の事なりと云ふは其の事なりと云ふは其の事なり

一 来書略す目へ書く事とは何の事なりと云ふ
と云ふは其の事なりと云ふは其の事なりと云ふは其の事なり
と云ふは其の事なりと云ふは其の事なりと云ふは其の事なり
と云ふは其の事なりと云ふは其の事なりと云ふは其の事なり

返書略す目へ書く事とは何の事なりと云ふ
と云ふは其の事なりと云ふは其の事なりと云ふは其の事なり
と云ふは其の事なりと云ふは其の事なりと云ふは其の事なり
と云ふは其の事なりと云ふは其の事なりと云ふは其の事なり

一 仁者心動なりと云ふは其の事なりと云ふは其の事なり
と云ふは其の事なりと云ふは其の事なりと云ふは其の事なり
と云ふは其の事なりと云ふは其の事なりと云ふは其の事なり
と云ふは其の事なりと云ふは其の事なりと云ふは其の事なり

一 仁者の志虚とて天地万物山河海に皆有也
春夏秋冬の明晝夜風雷雨露霜雪の行
り順遂の人生の陰陽の死生の晝夜の道なり
何とゆへに何とゆへに人義をたもてて
一 知者の志虚とて流水の如く元へて
終るに意とて意とて意とて意と
あつて万事不得とて應に万事とて
一 知者の志虚とて物とて物とて物と
とて周とて比とて人我とて物とて
一 君の意思を内め向ふて心より知る
とて天地神明とて一とて人

貴賤富貴の月

一 地虚中るれん有とて外なは同く
富貴とて愛とて愛とて愛とて愛と
貧賤とて貧とて貧とて貧とて貧と
貧賤とて易簡なり下は下は下は下は
富とて貧賤なり下は下は下は下は
富とて貧賤なり下は下は下は下は
一 志と持とて志とて志とて志と
よとて志とて志とて志とて志と
よとて志とて志とて志とて志と
よとて志とて志とて志とて志と
よとて志とて志とて志とて志と

下

一人見^ミてうゝとされしを神代よりうゝ事
と云ふ人見てあつとされし天のうゝ事
事と云ふ人見てあつとされし一僕^{ボク}の罪^{ツミ}と云ふ事
那^ナと云ふ人見てあつとされし何^{ナニ}と云ふ事
と云ふ人見てあつとされし何^{ナニ}と云ふ事

小人

一心利害ガイヲ落ラフ入イリテ暗昧アンマイナリ世事サイジヲおくそ何と

あけそり

一 心フモイノホカ思ムカフ外ミは向ツキく人アヒ未クウ成ミカ怯リヨのを或ミカハリヨ禪ミカ空リヨ或ミカは妄リヨ慮リヨ

多

項^{エウ}富^ウ夫^フ悦^{エツ}樂^{ラク}を^ヲ類^{ルイ}なり^ニ送^{ソウ}へ^ヘ分^{フン}員^{イン}は^ハ患^{エン}難^{ナン}れ^レ類^{ルイ}なり^ニ

[illegible]

歌とて人て命とあは

一 名聞深るれん 誠とく外 竹破厚くれん 義と和
己より富貴とくともやと式々とわくしより富貴

かく減あなとり或々志のこ^チ知^チ蔵^チ能^チのこ^チよりえたる
 ともありしを^チ益^チと^チ爲^チる^チる^チこよむこふと親^チ心^チ

人よ同くと死しく一生をちかり

一物に實我六叶ミツハいふ道とも當世タウセ人のわび事

けさへいふことなり
 実義は叶わぬ事なり
 人なり
 名は眼^{ざし}木の^ナ名と東^北の^ト利^リ也
 名利の^{ミヤツリ}人なり
 人なり
 人の^{カミ}名^ナの^ヨ名^ナなり
 道と云ふなり

一人の世とけい子とけい子い実よとてとてめとて使へ

わたりことし、いふれとて有るいふれ
 とあれといふやうにとあらひ非ともきり改じら
 うはな人々も其人とも其心恨み邪とおして
 するまゝにさういふくしくしてあつたと思へり
 願ふ所とて諫めさせたいと思ひ
 一人の罪ともせずとのこりありとせり人々自
 満せざるを期す

満ちてくるもの
道^{ミチ}もあつていふにやれと来^キぬ義^{ヨミ}よとひらき利^リと来^キぬ
士^シ媚^メいふたくとて禄^{ロク}とえんといふ思^{オモ}ひ庶^{シロ}人^ニの
目^メとらうちして利^リと得^エ也^ヤといふは義^{ヨミ}ありて富^{トモ}る
貴^キといふ^{ハカ}は雲^{クモ}のうらとらり終^{ハシ}よみ孫^{マロ}と亡^{ナシ}ふ
るいふも不^ス常^{サマ}

一丈へはさるゝはちとく人々のともをたとの道よれ
 わさく人ともさすともさくつてさくつてはた
 一遠さへ家ととに自備してたえがらんとてはた
 のあさかり愚あれともさくつてはた

来書略志^{コヤミシラシ}の進^{スベ}くとも不足^{スベ}以隨分^{スベ}に^{スベ}わらん^{スベ}あ^{スベ}い^{スベ}も
 氣^キ質^{シツ}来^{レウ}弱^{ニヤク}が^{スベ}ね^{スベ}よ^{スベ}進^{スベ}と^{スベ}く^{スベ}い^{スベ}志^シの^シ親^シ面^{メン}を^{メン}く^{メン}る^{メン}

逐書略つとや、^言此の氣は^キ力の^{チカラ}ものとて、^{チカラ}は^{チカラ}たれど、^{チカラ}は
 もろい^{ガウリキ}強力ありて、一旦^{オキ}に^{チカラ}もろくやうの進^{チカラ}は^{チカラ}徳の
 カう^{チカラ}これ^{チカラ}を^{チカラ}根^{チカラ}に入^{チカラ}く^{チカラ}入^{チカラ}徳の^{チカラ}益^{チカラ}なる^{チカラ}は^{チカラ}氣力の^{チカラ}時
 わりて^{チカラ}ゆ^{チカラ}う^{チカラ}之^{チカラ}は^{チカラ}又^{チカラ}根^{チカラ}は^{チカラ}不明^{チカラ}なる^{チカラ}所^{チカラ}あり^{チカラ}て^{チカラ}是^{チカラ}の^{チカラ}
 徳の^{チカラ}力^{チカラ}の^{チカラ}明^{チカラ}なる^{チカラ}所^{チカラ}あり^{チカラ}か^{チカラ}い^{チカラ}て^{チカラ}氣^{チカラ}質^{チカラ}は^{チカラ}強^{チカラ}柔^{チカラ}なる^{チカラ}

のあやかしにぞけりあがり此のやうにぞりては成土
とく人の肝要ゆゑに

本書略淨土宗日蓮宗のいふ衆のまゝに戒となす
 のゝなつともむし悪とれ〜ても弘院とれも妙法ととも
 うまゝに成得ともいふ〜といひ善行ともれ〜難行
 といふなり地獄ゲコウは落〜と銃トキはむ中願寺宗田前りい
 法後坊日蓮法師中〜如快の〜とらる〜事といひて一宗
 といふは免い〜とくお落う〜や落ひ〜る事よは今の教を感
 のろ〜つ〜たすの初めお如快の〜と〜してゆ〜るゆゑら
 不審フシンよぬい

返る略法は、（モ）法華經の別林、教示し書と見ゆといふ可停止於念佛
（モ）門号を戒行專勸、婦酒食肉適守律儀者名難下人
 憑効陀本願者説勿恐造惡事成是佛法大地也衆
 行雖區同專之是以善導和尚奉目不見女人此行狀之
 赴過本律制淨業之類不煩之者惣失如來之遺教別
 背祖師之舊跡旁無據者歟日蓮坊云十七出家後不需
 妻子不食肉權宗人尚可然況正法行人哉
 ニ廻ぬまよひて末流の坊主といへん異なり法然坊より
 戒行もよきところなれ作よ日蓮不常妻ふと書い玉
 を奇特よ持りて一妻みても可持やくとせぬれ
 事の有るおのこどもか家よりけりぬく戒なくとい
 お家よわらぬこの事よい世間様とせん説法にむ破
 戒無慙のいふもあしく見て尸以渡せたる事よいんとする
 の批評は不可及い

家よわつたもの事よいせ同い方よいせん
 戒^{ザン}無^ム斬^{ザン}のいもあといく^イつ^ツ渡^{セイ}せあ事よいんとう
 の批^ヒ評^{ヒョウ}は不可^{イカ}及^キい

の批評は、不可及

尸るあはまゝに修の初め此の端は可成は

返書略聖人の言に何世の時處はしとく應しん

とも採用ひやうわゝとよりて害はるるのふは喪の

事死を以てせとけりやるひとわう一言としてひひを

道理明白よは痛き無親の情とく思ひひるひは

多きひのふは法のこゝはとせひりやうら親の

死を以てふのふはむ一可なり近世の人の生付氣根よ

うく作金りうは成るるふ人のもゝと竹木金

石をみちるゝをの物あは運氣よつていづの

況や人よといしをや今の人の氣作らう情しと

りうは世間の定法のふ十日を忘精進めく相應は

かり氣根つう志きかたよあて其ふ公喪と

ひとあふあゝふふ十日も祝言等の席へあはれ

の事めて可なり神祇の服日本のお法れと

アとせりうはけえとあはれとみ者といふと

もふ若者多うと其人の罪あゝと情時

と不知しとあはれと過なり物極といふと

通理なまは百年の後人の氣根とより氣作は

り世中實業の風よりて情もあゝあゝく道徳の

もと興起し至活は澤とわうは時とあゝあゝ

事一車はとくわうといふととてとあゝ者わ

ひ今ふ誠と人事と思はれ者法よりて眼と

と若者ありとよりとく道の地とひとすあゝ

の時とあゝと減とてはとあゝ事いふと

とくこのびとを予いふん情とあらう思ひたりとて王見
 わりて人意と見ぬ世れなりよむ事として獨立
 其他のま者に狂言がきいたるなりともあつた浮き氣
 体より情叶はれたことありしに名義同くするも
 身と心とわかれなきものなりとて感ぜし
 なせよ為量ありて義あり人多く聖人の名と
 もふといふも大難なるに似たりとて其人の名を伝
 へたるにわれこれをも表して作法よりさく家おとし
 てその武士なると知るゝその心と成時とはほゞ行
 ないし其流はそとにせしめられ悪名となりゆかり
 行ふ時に身をけりて武士の法にあらずとて後せん
 といふ不忠めと落人なり道へ入傷の通也就中忠孝
 もあるといふも忠孝は實なることあり道有り志
 あることありとていつはり是非なり事ある今此時
 大志ある人の心を其身根元は愛情なり
 一二年の喪ははじりて若なりとも人の所
 又兄となりてみ弟とてなりてさういふことあり
 も行く去る人のつとて此事いふことありつと
 て衆したる行之武將の道も同一人わけあり
 こころ各々獨士の勇なり人の将たるは總軍勢
 のつけおこすことなり進退は己馬の如や
 さうあらひゆると信は異なり共一流となりて
 俗とされ天地の化育を助くること終は小道となれ
 り是非と是非とお争へり道の行なりとてさう考へら

よりの俗よめうんとい氏の父母より徳の

一 来書略 天子よわくされ禮樂と不作といひ儒法の
喪祭とやふれも礼と作の類もあふくひや

返書略 古来日本よ用ひらる礼樂官位衣服制

聖代の遺法なりあまふら儒法なり喪祭の事古

く神道の法ありこ中比佛法より後て神を授けり

社寮より残る事ありとて平人より用ひるこ

を授けりひるこて世人よりこを承て承て承て承

来神通よりよりよりよりよりよりよりよりより

へも成るこよりよりよりよりよりよりよりより

よりよりよりよりよりよりよりよりよりよりより

初て大葬よりよりよりよりよりよりよりより

いより貴人と社寮といふ方よりよりよりより

邪者あり是又儒法より上代より神儒佛より

いなり東照神君も神儒に云ふこ國ゆとの存ひ

より上代武家共よ用ひるより何と作と可や中

なりて人情厚くならん御の妻のつゝめのみ
らと可事^シの行業^ガ厚くなりて其世の一年一今の百
目^ミなりも勅^チめやとる今^イの世愛^{アイ}みよ別^ワれてみ年
七年^ナ歟^カさ驚^ビ病^ビ氣^キなるとも平生^{ヘイセイ}の事^{コト}の妻^メの体^{タイ}
さしとあま哀情^{アイジヨウ}解^トかりととも氣根^{キネ}弱^{ヨク}く堪^タ忍^ニ精^{セイ}
なりゆかり況や哀情^{アイジヨウ}の薄^{ウス}き者^{モノ}つゝめとる人^{ヒト}
やあまいさし哀情^{アイジヨウ}なりとも氣体^{キタイ}弱^{ヨク}く病^{ヤス}時^{トキ}の事^{コト}
さしとのつゝめなりゆかりのなりみ人の氣質^{キシツ}
ありあり付^ツのゆかり方^{カタ}よははなり異^イなり
れ^レのほゆれも利^リを深^シき者^{モノ}ありに愛^{アイ}なりて人
と恵^ヱと財^{サイ}とありぬえし礼法^{レイポフ}よい疎^ソなりなりあり
勇武^{ユウブ}なりとも不^フにたりとあり才^{サイ}なりて真^マ実^{ジツ}大^{ダイ}徳^{トク}
者^{モノ}あり如^ニ海^{カイ}の人^{ヒト}こゝろ付^ツのゆかり不^フも自^ジ謙^{ケン}して
さしと不^フなりとる人^{ヒト}に至^タよ相^{アイ}助^{タツ}子^シ事^{コト}ありはさ
のさしと却^カて相^{アイ}和^ワいお敵^{テキ}なりさ友^{ユウ}なりなり
にさぬて人^{ヒト}と愛^{アイ}しゆり利^リをさる人^{ヒト}にさ歎^{カウ}と氣^キ
を道^{ミチ}徳^{トク}よといひ妻^メとさるなりれ^レの格^{カク}法^{ホフ}なりさ
しと流^{リュウ}落^{ラク}なりとて天^{テン}トれなりさ一人^{ヒト}の罪^{ツミ}
わさしと一^{ヒト}の不^フ足^{ソク}とて之^レの徳^{トク}と麁^{ソウ}とさるなり上^{ウヘ}世^セに
さしとさるなり況や末^{ミツ}代^{ダイ}よといひささるなり徳^{トク}と
し上^{ウヘ}代^{ダイ}よさるなり必^{カナラ}とれなりさるなり
よれ^レの格^{カク}法^{ホフ}なり一^{ヒト}只^{モト}誠^{マコト}も専^{セン}や伏^{フツ}裁^{サイ}神^{シン}農^{ノウ}の代^{ダイ}め三年^{サンネン}
の妻^メなり哀情^{アイジヨウ}救^{キウ}なり心地^{ココロ}光^{ミツ}明^{メイ}なりて節^{セツ}なりさるなり
妻^メ歟^カ伏^{フツ}裁^{サイ}氏^シの時^{トキ}はさるなり必^{カナラ}とるなりれ^レの格^{カク}法^{ホフ}

一事として儒者の道と云ふなりとありて其の人情の名利
 伏虎と云ふもの竟の代より云々云々の其の格法を
 のちのちに達して天性の徳と魔とを思ふ人々も不才
 それを其の終と信じてなり其の遠と近なり其の徳
 こゝは海と云ふ人の道の重なり其の格法を其の終と
 其位と云ふ人々一人心の徳と云ふ人の格法は拘て玉叶
 と云ふ人々其の格法と云ふ人の格法は拘て玉叶
 と云ふ人々の格法と云ふ人の格法は拘て玉叶
 ような人々の格法と云ふ人の格法は拘て玉叶
 不才又云ふ人々の格法と云ふ人の格法は拘て玉叶
 と云ふ人々の格法と云ふ人の格法は拘て玉叶
 三年の喪の法と云ふ人の格法は拘て玉叶
 の終と云ふ人々の格法と云ふ人の格法は拘て玉叶
 終と云ふ人々の格法と云ふ人の格法は拘て玉叶

来書略喪の中魚鳥と食せし生類と忌の義を
 らの伴家の流は似たり其の終と云ふ人の格法は拘て玉叶
 水飲して何れも其の終と云ふ人の格法は拘て玉叶
 の終と云ふ人々の格法と云ふ人の格法は拘て玉叶
 其の終と云ふ人々の格法と云ふ人の格法は拘て玉叶
 返書略喪の一の主意あり其の終と云ふ人の格法は拘て玉叶
 其の終と云ふ人々の格法と云ふ人の格法は拘て玉叶
 食と云ふ人々の格法と云ふ人の格法は拘て玉叶
 食と云ふ人々の格法と云ふ人の格法は拘て玉叶

子

わく之道理めては

通書昭天下の達尊にあり徳と年と位とをり朝廷
 よとして衣冠正しく貴族の流と命にへるを
 位なりともの郷里の事と受めく孝弟ともの
 もとふなりといふ年ともの世と物と民と長るの徳と
 慕ひ迷ひ辨へ公法と明うよとく徳ともの
 あり古の王公ともの民間の賢者よ降る
 甲ともの彼一燕の師ともの自こつ命と辨へと小
 ともの道徳仁義も同事の候よ公卿ともの時ともの
 甲貴人とも亦わたり候有り徳と位と来り小
 と徳と位と振る候ふ命といふはわたり事なり
 命なり

来書略世間よしと物うらやましうらやましはみ疎を綴りたり作
 深ツミわりてうらやましうらやましはみ疎を綴りたり作
 小みか物諸よし竹の香とうらやましうらやましはみ疎を綴りたり作
 うらやましうらやましうらやましうらやましはみ疎を綴りたり作
 めてはみ疎を綴りたり作

よはのこ見てありてなりてなりて上達なりて

上達も亦得るなりてなりて

来書略此は来書とて君より不重なる威を章の送と

得い君子の教養の備なりて同いなりて君よりなる

の道なりてなりてなりて君よりなる在位の君子と云

と同様にありて古人のよりなる人なりて道徳ありなり

在位の人より君よりなりて重なりて不重なりて氣質よりなり

生付なりてなりてなりてなりてなりてなりてなりてなりて

なりてなりてなりてなりてなりてなりてなりてなりてなりて

なりてなりてなりてなりてなりてなりてなりてなりてなりて

なりてなりてなりてなりてなりてなりてなりてなりてなりて

なりてなりてなりてなりてなりてなりてなりてなりてなりて

なりてなりてなりてなりてなりてなりてなりてなりてなりて

なりてなりてなりてなりてなりてなりてなりてなりてなりて

なりてなりてなりてなりてなりてなりてなりてなりてなりて

なりてなりてなりてなりてなりてなりてなりてなりてなりて

なりてなりてなりてなりてなりてなりてなりてなりてなりて

なりてなりてなりてなりてなりてなりてなりてなりてなりて

なりてなりてなりてなりてなりてなりてなりてなりてなりて

なりてなりてなりてなりてなりてなりてなりてなりてなりて

なりてなりてなりてなりてなりてなりてなりてなりてなりて

なりてなりてなりてなりてなりてなりてなりてなりてなりて

なりてなりてなりてなりてなりてなりてなりてなりてなりて

述書略略より終るまで句々皆解せんといふ書と解
しうめていへんをとて受用れん意にあつては
又要と得ありと思ひて他と疎るゝも辭なり情性
と吟詠と道德と海客とて詩のそゝあつては道
理を行へ我心なり経傳に我を以て道理と解するものや
経傳とていへば我心の存理を見ゆればなり
我心の存理の至窮なり書中れ一章と行要と止
終つゝと又吾解とていへば吾解とて付の書と平行
として我心と夫上の辭あり吾心の位と吾心の
と夫とていへば受用の要とて思ふに付よりなり
のためは時より我心と受用の要と得んべしなり廣く
よりて道德と海客と日新の功と後て氣質とを必
し終るべし

一 再書略廣くより終るまでいへば經書と讀てより
述書略より廣くよりいへば學校の理より伸して公と私
のそとよりめとるゝと書の中より一時的なる
て聖賢多し経傳の美處の存するは考經大略中庸
めくともゆりぬり論語孟子とも是なり一終る
てもありぬり其中十上七八とて解し終るもの
るゝに要の書中よりわづらひ我心あり大意と得時
天下の類なり何れ書本文義と事なりいんや
一 兼書略道なり何れ何れ大道と稱しは
述書略の道なりとていへばなり大道の名を
て大道といふ同なり儒とたよ進びて一獨拔じたり

衆とたよゆへ一獨異かゝるゝと他人愚事とて
しこのとせされとてうゝ人とうめさるゝに善
の行ふ金とていふと一人をさへ一人をさへ
三軍の將の士卒とたよるもさへて獨士の勇と用
ひさるゝとて衆のさへさへて氣と見ていふれらてと
とひさるゝとてわりと氣力わりと人のさへいふれら
さへ世の道義の小道なりとていふれとてさうめ
衆書略に

経書略に

然り水と十分入て持とるも人の事人心の危と知
くいふりさるゝに欲とてさへて人心を靈明と
大事なり右のさへといふれとて用とていふれとて
大事なり一とて金とてさへてさへてさへてさへて
それいふとさるゝと人心の靈明とてさへて主意
立ててさるゝと人心の事とてさへてとて用とて
下生とてさるゝと人心の事とてさへて主意と
とめぬぬ其念慮とてさへてさへてさへてさへて
さへてさへてさへてさへてさへてさへてさへて

一事物とてさるゝと人心の時とてさへて
悦とてさるゝと人心の生付とてさへて
さへてさへてさへてさへてさへてさへてさへて
いふとさるゝと人心の時とてさへて
歩行乃時とてさるゝと人心の時とてさへて
これとてさるゝと人心の時とてさへて

して七十ありてむの歎とるよとてうのつとてうと
れ道一貫義欲一致天道を心の動は回とて
あふく口とてを則とる是とわくは法とて
とて其中のありは

一曾み三荀物とて時の事あふく如人偏日用り
といき篤實も受用あふくぬやと大賢よなり
れとてせあふくめくあふく患とて盡とて
我事ぬ誰もむとて人のあふく十分不
る真実を安んずとて父母とて兄弟とて
思ひく相交れと信とて内外一なるやと
友との同きあふく日用あふくはひとて受用とて
とてあふく

一勿正とてあふくといきとて勿忘とてあふく
勿助長とて才とて用とて百姓の農業とて
ひとて職人の職とてつとてい
才とて用とて書とて事とて自得とて
以徳と善と行し徳とて事ぬ経傳と見ら
馬礼樂とて自己の非とてとて過とて
五倫道あふく事ぬ善と行めとて不義とめく
悪と恥とてあふく天眞とていあふくと主人
とて事ぬ皆善とていあふくと事とて
れとわくとて

一克己復礼ハ天理人欲をくひ不^レ立^ル以^テ礼ハ理なり己ハ徳也
礼リ克^{カキ}スル所則^{ナラバ}天理なり則^{ナラバ}天下我心内ヨアリを平
人の己^{ミヅカクニヤ}モミズレ己^{ミヅカクニヤ}賢^{サトシ}人の己^{ミヅカクニヤ}高^{タカク}下^{ヒダケ}淺^{アサシ}深^{フカイ}各別^{オノオノ}スルといふ方
席書付のしくめくは三月不^レ違^ハ仁の語、克己の語を
記し四時三月めくるつらぬと六年中此事を一年
中多くていふことも不^レ違^ハといふことこのつら
化して聖と成ると不^レ違^ハの事もよくと云ふまい、
天理流行のころの

易一人民の情はさうに感化しより善に誘はる人の
情はさうに隨て制法出来ぬ高貴は應に固く及ひ文の
の運轉は賢者徳食たるより事なりてるは一事
なりあふかある人情と溢る一えさふむいたるなり
礼儀乃防かほく出来ぬ期ありやふかうに留めし集
ふさうにいてれふさうのありとの時賢者多く人善き事
さう固の盛世なりやうなるかともあへば一さうなとも
人民の心は礼儀を習はうとて伏羲の時より伏羲
乃民も礼儀を不習とて一も實朴純厚なりて情欲う
とく利害なりとの人情欲厚く利害深き事其習
十百年ふあうと根固く流はれ一俄に世俗の人情と情
欲は利害と情を道に引さうとす今乃世乃民を
さうさうに幼少の老成導くさうと一帝徳を養て神

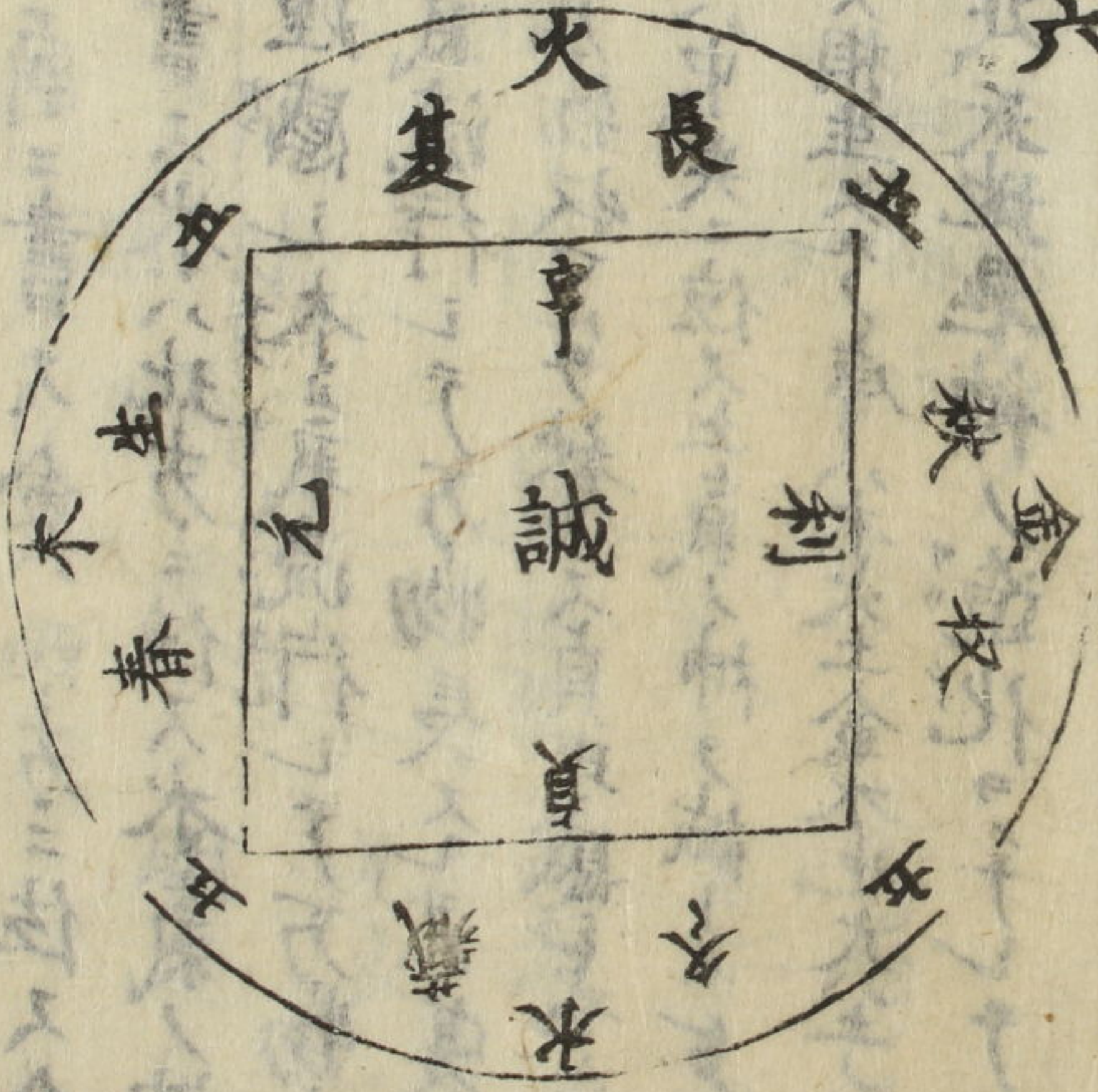
知の開かれと徳一世俗もさう先より一礼儀を欲
さうに待て一三四五歳の童は義の端とありあうい
まてさうさうにあらはれんあうと知乃端とありひまて善
悪とさうさうにあらはれんあうと義不義を争へど
吾も是れ非なりとに及るに六七八歳にとりひて辞
讓の心もは故に人八歳よりさうに待て小學より入
るふさうにあらうとて其固有の時ふさうにふさう
みらるる歳にあらうこの世俗もみらるる歳の時なり
えさうに校の政をとりて是非善悪を辨ふ知とひく
て教はるさうに義を勉む一十数百年後百歳は應に
はるさうと俗も礼儀を勉むさうと一ひくさうに伏羲神

て學校の政乃やらん人々代ゆふへ其志願あり其
時さうはあつてななくあつて今我同志の人こと此
家の格法者とい天下の秀才なりけ軍の聖人乃法とい
つゝいふ望むといふ九牛の一毛あると天下此世俗を賤し
いふこと聖學乃道理とてにも不聞況や法代といふこと
かといふことす難い其申すこと法ふあるまゝとも
彼百人の童蒙乃中の一二人あるとあつて世俗
より学あふとあつても學者知あつても許容とていふ
況や世俗の中より賢小者なりとやあつてあつて世
俗の人より學代不聞いふこと法代といふことと學
者乃道と仕とていふことありと人々いふにあら
夫はの徳乃とていふことあり今の學者あつたがうに
いふと彼好人よりいふことありと學者世俗のつとめ
すは道學代學といふこといふこといふことありと
いふこと代の習乃法も代も不洗利害とていふこと
いふこといふこといふこといふこと世俗代といふこと
いふこと平人といふこといふことあり毀譽利害とていふ
格といふこといふこといふこといふこと世俗いふこと
いふこと學者の格といふこといふこといふこといふこと
いふこといふこといふこといふこと時處位といふこと
と持來ていふこといふこと天下千百年のいふこと
と神道王法の教といふこといふこと民庶國の學者乃一流と
いふこと彼一派乃者のいふこといふこといふこといふこと
戒と持來ていふこといふこといふこと世俗といふこといふこと

集義和書卷第六

心法圖解

天道



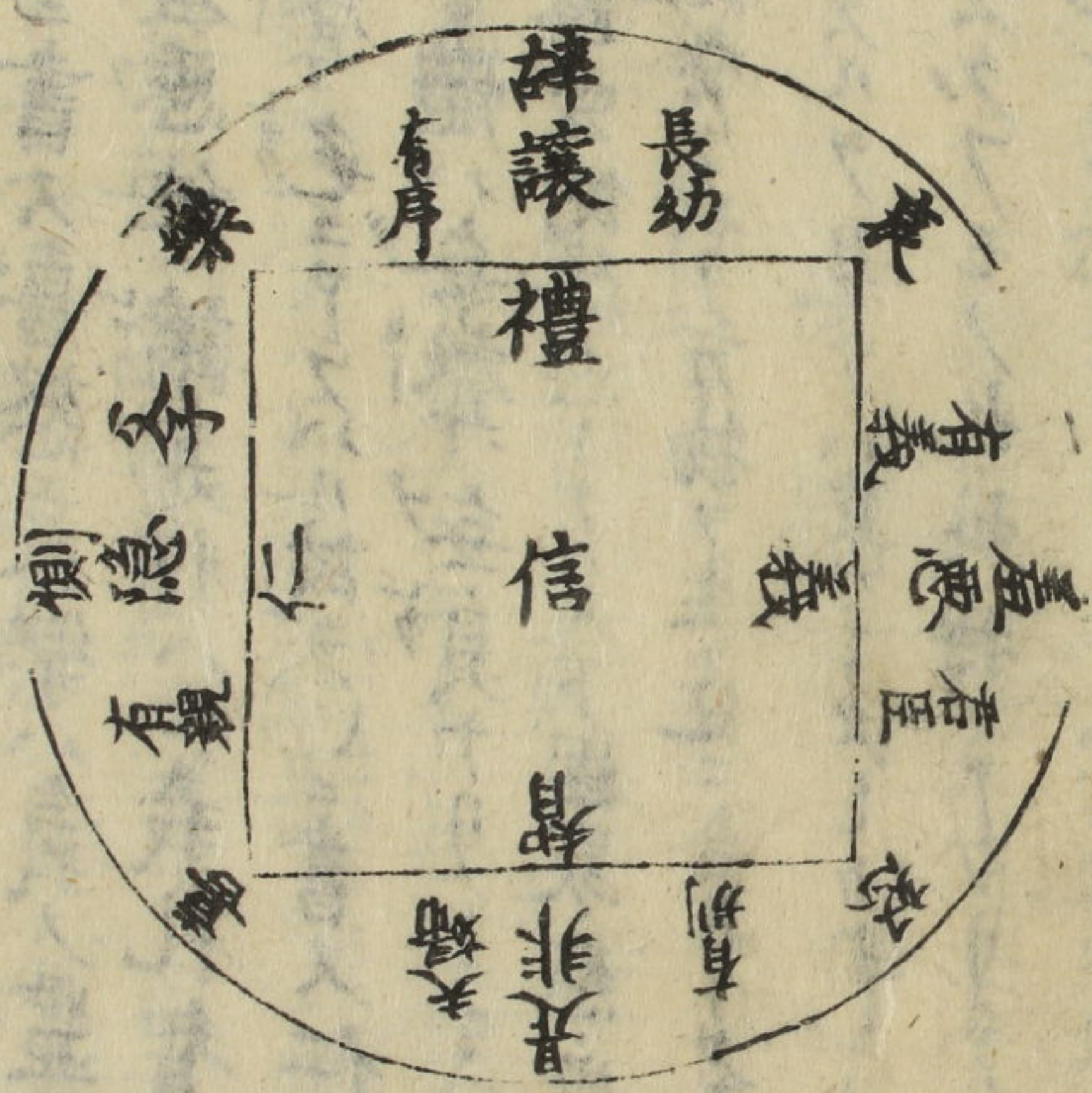
□ハ寂然不動ノ象也○ハ流行活動ノ象也□ハ理ヲ圖

○ハ氣ヲ圖ス太虚ハ理氣ノミ天道ハ至誠無息也故誠字

ヲ中ニ書ス誠ハ天之道ナレハ也其中ヲノツカラ元亨利貞

條理アリ是ヲ天ノ四德ト云四德モト一理ニシテ金方ノ
 神ノ氏天地同ケ秋象アラハレテ後木ハ東方ニ位ス
 木氣ノ神ヲ元トス故ニ元書ス火ハ南方ニ位ス火氣
 ノ神ヲ亨トス故ニ前ニ書ス金ハ西方ニ位ス金氣ノ
 神ヲ利トス故ニ右ニ書ス水ハ北方ニ位ス水氣ノ神ヲ貞
 トハ故ニ背ニ書ス元理感シ木氣流行シテ万物生スルヲ
 春トス亨理感シ火氣流行シテ万物長スルヲ夏トス利
 理感シ金氣流行シテ万物収メルヲ秋トス貞理感シ水氣流行シ
 テ万物藏ルヲ冬トス其中央ニ位ス土氣ノ神ヲ誠トス方ニ土用四
 季ニ應スルカ故ニ四隅ニ書ス相生スルノ序ハ木火土金水也火土ノ母ナハ土
 未申ヲ盛位トス是天地鬼神ノ造化ヲナシテ無盡藏

人道



父慈 子孝
 君仁 臣忠
 夫義 婦聽
 兄良 弟悌
 朋友 交信

惟此五極ノ理ニ五ノ精妙合シテ人トナリ明德ソナ
 ハル是ヲ性ト云性中ヲノツカラ仁義禮智信ノ條理
 リ天ノ元ノ人ニアルヲ仁ト云天ノ亨ノ人ニアルヲ礼ト云天ノ

利ノ人ニアラ義我ト云天ノ貞ノ人ニアラ智ト云天ノ至誠
至息ノ真ノ人ニアラ信ト云タトハ同シ水ノ流ナレハ所ニ
ヨリテハ川ノ名ノカハルカ如シ仁義礼智信ハ天理未充ノ
中也故ニ□ニ書ス喜怒哀樂ハ氣ノ靈覺ナリ故ニ○ニ
書ス惻隱羞惡辭讓是非ハ仁義礼智ノ端ナリトイヘ凡
氣ニ感シテ聲色ニアラハル故ニ○ニ書ス仁ハ天ノ元徳ニシテ
生理也其全體ハ吾聲吾臭ナリトイヘ凡感シテ天下ノ
至三思スルキ慈愛惻隱心トナル天下國家慈愛ナクテハ一日モ立カ
ズ是是天ノ元徳春ヲ以テ万物ヲ生スルニ合スイカス愚夫愚婦モ赤子
ノ井ニ入ントスルヲ見テハ甚イタミカナシメル心生シハシリヨ
リテアイタキスクフモノ也此時ニアタリテハ其赤子ノ父ニ
シレシク思ハレト心モナクスクハズハ不仁ナル者ト人ニアラ
イレト思フ心モナク其父母ヲ知不知ノ辨ヘモナシ然レ
テ人ニ習知タルニモアラス天機ニウゴイテ不仁ニシツテ
モ不知處ナリ故ニ是ヲ仁ノ端トス也礼ハ天理ノ亨徳ニ
テ盛大流行ノ至神ナリトイヘトモ天下ノコトニ感スル時ハ
恭敬辭讓ノ心トナル上下貴賤ノ分定リ位品アリテ相
親ハズ相シノカスシテ天下太平也天下太平ナル時ハ物
ノチハル天ノ其ヲ以テ万物盛長ナルニ合ス神明ノ宮杜
ニ遊付トキハ自然ニ恭敬ノ心ヲヨリ主君ノ位ヲスル時ハ
君井マサストイヘトモ敬心生ス一文不通ノ賤男賤女モ
客アレハ馳走シタキ心アリ飲食菓子女子ニ至ルニテ多クア
タヘ少キヲトリヨキヲユヅリアシキヲ食スルノ事アラ
ストスコトナシ故ニ是ヲ禮ノ端ト云義我ハ天理ノ利徳ニシ

テ神武ノ勇アリ天下ノコトニ感シテハ善惡邪正ヲ新
削ス天ノ秋ヲ以テ實ノ物ハ成實シ葉ヲツルヒハ黄ハミ
ヲテ虚實ワカルニ合ス羞惡ノ心ハ我ニ惡アルハ耻カシク
思ヒ人ニ不義アルトキハクム心生ス此耻ノ心深キ者ハ易過
ヲ改メ善ニウツリ賢人君子ノ地位ニモ至リ易シ至學
ノ野人トイヘ死ヘキ所ニテハ死シ主君ノ難ニ當テハ命ヲ
カレンシ名ヲ後世ニアクル者アルハ此羞惡ノ心アル故也故
義ノ端ト云智ハ天理ノ貞德ニシテ心ノ神明也空ニトシ
テ衆理ヲ妙ニス天下ノコトニ感シテハ是非善惡ノ鑑トナ
ル天ノ冬ヲ以テカクレ天氣清明ニシテ来歳春是秋ノ根
トナルニ合ス智ノ本体ニ是非善惡ト云モノアリテワカツ
テハ情ワカル也鏡ノ虚明ニシテ一物ナキ故ニ物ノ
秋ヲウツスカ如シ鏡ハ虚明ナルノミニテ神靈ナキ故ニ
物ヲウツスバカリ也智ハ神明ナル故ニ能天下ノ事ヲツ
カホトリ物ヲ成也然トモ鏡ヨリ外ニハ智ノ象ニナス、キ
物ナキ故ニ古今タトヘトスル也惣シテタトヘト云モノハ一端
ノ形容也全体不測ノ神靈ハタトフヘキ様ナシ鏡ニ扇
ナリトモ一物ウツシ置テ是ヲノケザル時ハ他ノ物ウツラ
ハ智モ空ニトメ一物ナキ時ハ能万事ニ應ス知識ノ多ク
ニアルトキハ真知自然ノ照ニ非ス知者ハ每事ナル処
ヲ行トテ知者ノ國天下ノ政ヲナシ事ヲトルハ易筭ニテ
何ノムツアレキ事モナク水ノ流ルカ如ク也知ニ是非ハナケ
シトモ物ノ是非身ノ善惡ヲワカツモノハ知ナル故ニ是非

心ヲ知ノ端ト云ナリ信ハ至誠每息ノ天理ニシテ仁義
礼智ミナ信アリ故ニ四端ミナ眞實每息ナリ天道
ニ元亨利貞ヲ云テ誠ヲ不_レ言_レカ如シ四時皆土用_レシ
カ如シ誠ハ天ノ道ナリ誠ヲ思フハ人ノ道ナリ故ニ信ヲ
中ニ書ス仁義礼知モ_レ五方ノ神理ナレ_レヲナシク水火木
金土ノ神ナレ_レ故ニ天地ノ方位ニ配シテ書ス四端モ又四時
ニ配シテ書ス喜怒哀樂ヲ四隅ニ書スルモノハ天ノ時ニカク
ト_レ喜ハ春ノ色也哀ハ秋ノ聲也樂ハ夏ノ象也怒ハ冬
ノ氣也喜ハ愛ヲカミ哀ハ懼ヲカミ怒ハ惡ヲカミ樂ハ欲
ヲカス心正キ時ハ七情節ニアタル故ニ聖人ノ喜怒哀樂ハ
四時ニ配ス又王一度怒リ至ヒテ天下ノ民安キモノハ冬ノ寒
氣ツヨク_レテ來歲豐年ナルカ如シ亦天人合一ノ圖ニ五
倫ノ五典十義ヲ書スルモノハ天ニ五行アリテ人ニ五倫アリ
五行ノ神ハ元亨利貞誠也五倫ノ眞ハ仁義礼智信
也故ニ父子ノ親ハ仁也君臣ノ義ハ則義也夫婦ノ別ハ知
ナリ長幼ノ序ハ礼也朋友ノ信ハ則信也父母ノ子ヲ愛
シ養育シヒトナスヲ慈ト云子ノ父母ヲ愛敬シ安ス
ヲ孝ト云君ノ臣ヲアハレシ各其利ヲ利トシ其樂ヲ樂ミ
其生ヲトクル様ニ政教ヲナシ玉フヲ仁ト云臣下ノ身命ヲ
君ニ奉リニ心ナク眞實ヲ盡スヲ忠ト云夫ノ婦ヲアハレシ夫
ノ家ニ心ヲ止テ安座スル様ニ能_レ教ヘミナヒクヲ義ト
云婦ノヨク夫ニシタカヒ地ニノ天ナキ如ク我夫ノ外ニ天下ニ
夫ナキ貞ノ道ヲ守リカリフメニモウシログヲキ事ナキ
ヲ聽ト云兄弟ハ天倫ノ親ニテ同氣同親ナレ_レハ連_レル技ノ

如シ太父母ノ次第ヲ以テ年長セルタニ位ヒトシキ時ハ
長幼ノ序アリ況ヤ小父母ノ兄弟ハ骨肉ノ恩ア
レハ兄ハ父ニカハリテ弟妹ヲ教ヘシキ愛養スル
良ト云第ハ兄ヲ父ノ如ク思テ能從ヒ仕ルヲ悌ト云朋
友ハ真實無妄ノ天道ヲ父母トシテ異親同氣ノ兄
弟ナレハ真實ノ心ヲ以テ相交ラ信ノ道ト云也天ノ元
亨利貞ト人ノ仁義礼知トハ同体異名也天ノ五行ト人
ノ五倫トハ同氣異形也天地ハ元亨利貞ノ理ニ隨ヒテ四
時行ハル時ハ天地位シ万物育ス人ハ仁義礼智ノ性ニ
タカツテ五倫明カナル時ハ家齊國治天下平也又母子
ヲウメルハ春生スルカ如シ故ニ九ニ書ス兄弟長幼相ツラフル
妻長スルカ如シ故ニ前ニ書ス君臣ハ極ヲ立ルノ太義ナリ君
臣相カナツテ國治リ天下平ナリ天地ノ化育ヲナスケ
テ物ヲナセリ秋實ノルガゴトシ故ニ右ニ書ス夫婦ハ人倫
ノハシメナリ天地ヒラケテ後男女アリ男女アリテ後
夫婦アリ夫婦アリテ後父子アリ兄弟アリ朋友アリ
君臣アリ故ニ五倫皆夫婦ノ内ニコモリ天ノタミヲ以テカクス
ガゴトシ故ニ背ニ書ス朋友ハ五行ニ配シテハ五ナリ土ハ定
位ナレ故ニ外ニ書スルノミ

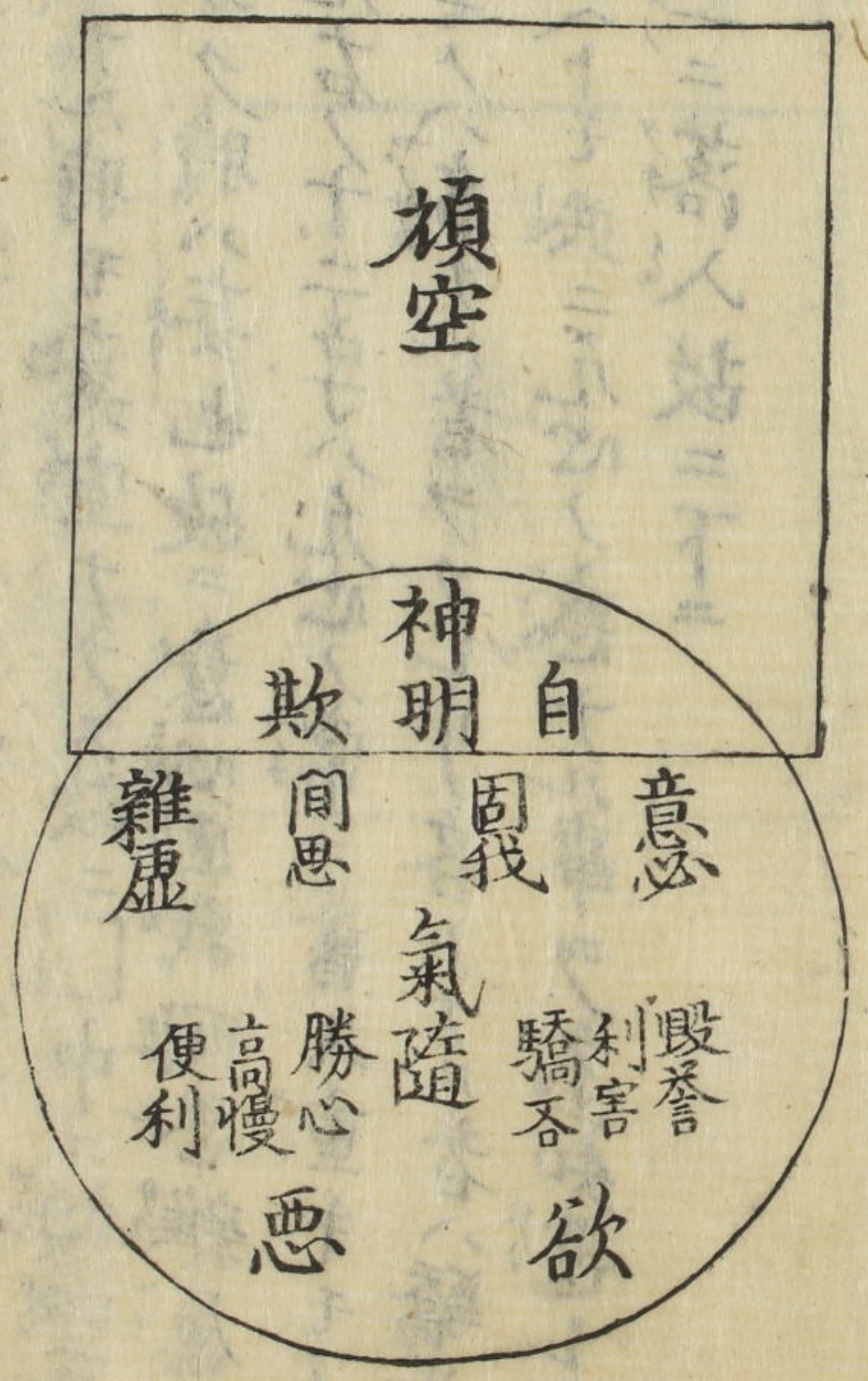
心法



心法ノ圖ニ□ノ内ニ中ノ字ヲ書スルモノハ中ハ天下ノ大本ナ
 レハナリ上ニ無形無色無臭ヲ書スルモノハ未だ
 ノ本然ヲ云ナリ靜虛無欲ハ中ノ德ナリ寂然不動
 シテ感スルモノハ中ノ神理也故ニ皆□ノ内ニ書ス神明
 □ノ内ニ書スルモノハ知ハ心ノ神明ナリモト寂然不動ノ
 理ナリトイヘトモ五德ノ中ニ先感スルモノナリ天下ノ万事
 ヲツカサトリテ照サスト云事ナシ動テアラス有云
 ノ間ナルカ故ナリ無聲無臭ノ本然ニライテハ手ヲ下ス
 へキ様ナシ垂人ノ教ヲマウケタミヒ學者ノ同學子ヲ好テ
 理ヲ窮メ德ニスノ内ナリ故ニ心ノ神明ヲ□ノ内ニ書
 ン慎獨ヲ以テ心法ノ要トス○ノ内ニ和字及ヒ動直無為遂
 通天下之故ヲ書スルモノハ発シテ節ニアタルノ義ナリ寂
 然不動感スルノ本立テ遂通天下之故也靜虛ナルカ
 故ニ動直ナリ無欲ナルカ故ニ無為ナリ爲ト云テ何事
 ヲモナサハルニハアラス人欲ノ私ナク天理ニシタカツテ不得

已レテ應スル時ハ終日為^{スル}コトアリテモ^{ナキ}益^{スル}為ナリ同レ文
 字ニテモ利貞ノ利ト利欲ノ利ト黑白ノカハリアルカ
 ゴレテ天德ニアリテハ物ヲ利スル故ニ道ナリ凡^{ソノ}人ハ已ラ
 利スル故ニ欲ナリ其ノ禹ノ洪水ノ時ニアツテ外ニ
 年三度其ノ門ヲスキテ入タマハサルモ益^{ナキ}為^ス至ナリ
 ○ノ下ニ視善聽善言善行善ヲ書スルモノハ人ハ動物
 ナリ行ヲ以テ性トスルノ義ナリ善ヲナサズバ德ヲ積
 コトナシ善トステ事ヲ作為スルニハアラス亦藝ニマ
 フモ善ヲスルナリ今日マサニナスヘキ事ヲスルハミナ
 善ナリ

凡心



凡^{ソノ}心ノ圖モ○ヲナシテ神明ヲ書スル事君子ノ圖
 同キモノハ人ト生レタル者ハ聖人凡^{ソノ}夫共ニ天性ニライ
 テカハリナシ善ヲ知^ル惡ヲ知^ルノ神明アラスト云コ
 トナシ人々不義ヲニクミ惡ヲハヅルノ良知是也タ、

慎獨ト自欺ノタガヒヨリ千里ノアヤミリト成テ君子小人ノ名アリ然トモ一念自友シテ惑ヲ辨ヘ獨ラ慎ミ過ヲ改メテ善ニウツル時ハ凡夫モ君子トナルヘ故ニ神明ノ同ク書スルモノ也小人ハ自欺テ氣ニ隨テ故ニ心ノ体空ナル時モ真空ナラス故ニ□中ニ須空ヲ書ス念慮動ク時ハ妄也故ニ意必固我同思雜慮ヲ○中ニ書ス左右ノ十字ハ凡心ノ常ヲ書ス重キモノヲアクルノ驕モノハ各ナル者ヲツレリ各ナル者ハ驕ル者ヲツレトイヘトモ共ニ凡心ノ惑ナル事ヲ不知甚シキ者ハ欲惡ノ二ニ落入故ニ下ニ

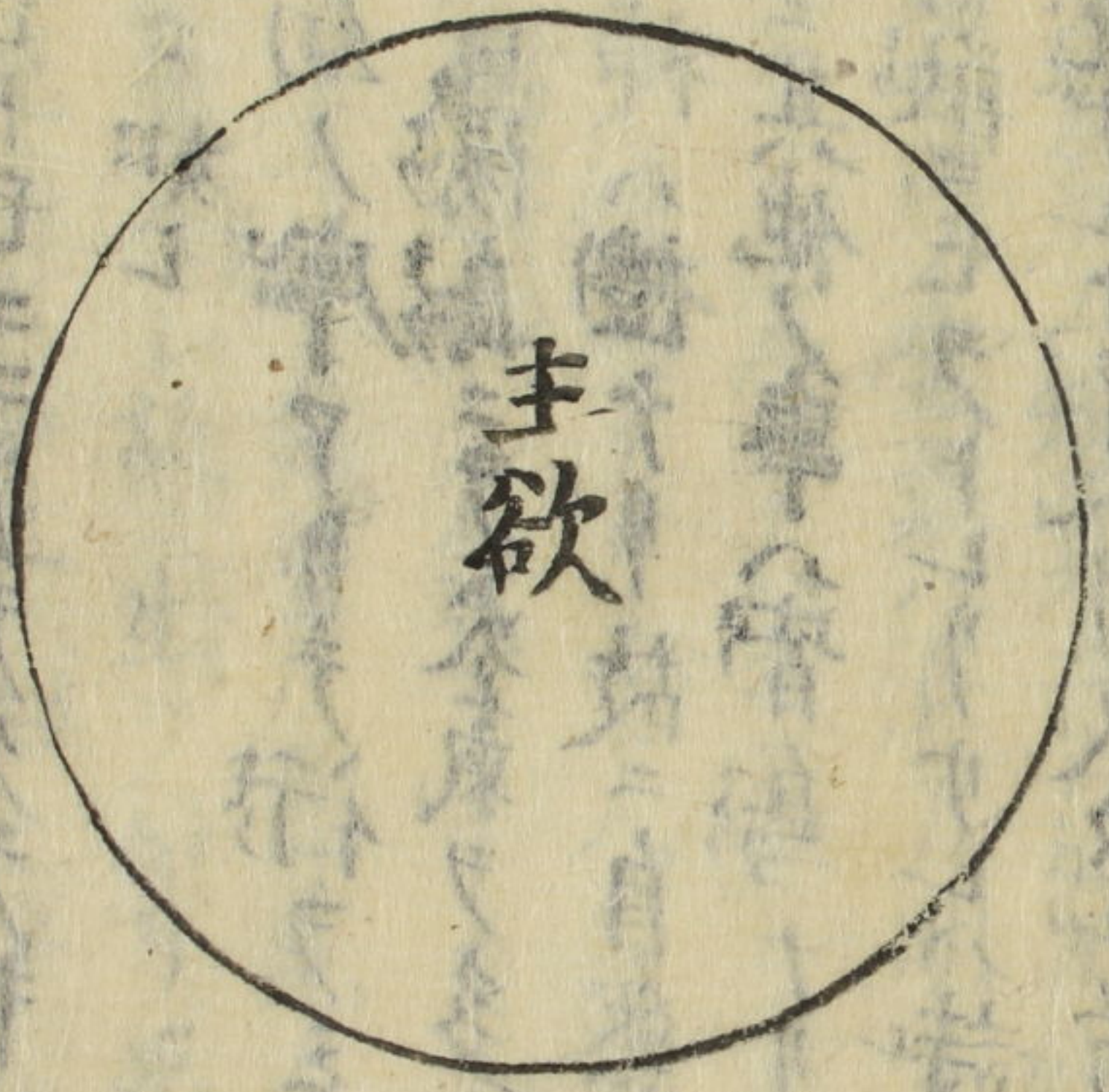
悟道

見性

□ノ○ヲハナレテ高キヲ悟道トスルモノハ見所ノミニレテ用ヲナサハルコトヲ示ス□○ハ理氣也理氣ハ凡トキハ共ニアリハナルヘカラスハナル、時ハ□モ實理ナラス○モ真氣ナラス□中ニ見性ヲ書スルモノハ異端トイヘトモ寂然不動妄欲全為ノ性ヲ見タル事ハ一也□ハ

毎ノ至極ナリ聖學ニハ其毎ヲヨク窮タル故ニ惑ナレ異
 學ニハ毎ヲイヘトモ毎ヲ窮メツクサル故ニサトリタ
 ル所ニ則惑アリ造化ノ神理ヲ見コナヒテ天地ヲモ
 輪廻ト見タリ故ニ曰儒學ニハ天道ト云テ大ナル事ニ
 トモ天地ノ道トモニ感ナリ故ニ佛氏ハ太虚ヲ出陰陽
 ヲハナルト云リ太虚外ナレコエ出ベキ所ナレ亦輪廻
 ナレハナルヘキモノナレタ、□ノ寂然不動毎欲毎為
 ニレテアラハレズアトナキノ真ヲ見テ佛性トレコ、ニ
 至テ不生不滅ナルヲ成佛トシ陰陽生々ノ氣ヲハ
 ナレテ二度生レス子孫ナキヲ以テ此離生死トスル
 ルヘレ造化ハ無盡藏ニレテ年中ヨリ生ズ生スル者ハ消
 不生不滅トハ云ヘカラス□ノ前後アラハレス形象盡
 身タニナケレハ亦滅スルト云事モナキラス不生不滅ト
 イヘルナルヘシ

禽獸



○ノミニレテ□ナキヲ禽獸トスルモノハ禽獸ハ形氣
 ノ欲ノミヲ以テ心トス故ニ○中ニ主欲ノ二字ヲ書ス理

ノ知覺ナケレハ塵生滅死トテ生ルモワキテヘナク死スモ
虧ウセスルバカリナリ禽獸トテモ□○ヲハナルハ
事ハナラサレトモニゴリテクラキ故ニ理ノ靈覺見
ヘズ故ニナキカ如シ

或同辱ノ長幼ノ序アリテ行ヲミダラサルハ□照シ
アルニ似タリ日陽鳥ニテ火氣ヲ多ク受テ生レタルモノ
ナリ火氣ノ神ハ禮ナリ故ニ自然ニレカリ禮ヲ知テ
ナスニ非ズ故ニ其他ノ事ハ皆鳥ナリ人ハ礼ヲ知ナカラ
各礼ナルハ禽獸ニモヲトレリサレハ詩人モ人トシテ礼ナク
ハ何ゾハヤク死ザルトイヘリ人タル者ハ妄欲ノ性ヲ固有
シテ妄欲ノ理ヲ知ナカラ欲ノ心トスルハ禽獸ニ異
ナラス禽獸ハ禽獸トシタルモノナレハ罪ナシ人ハ人ノ性
アリテ禽獸ニ近キハ大ナル耻ナリ

或同心ハ靈覺ノ名ナリ人物トモニ靈覺アリ心ノ靈
知覺ハナリ理氣ノ知覺ニアルカ如クキユルハ如何
曰靈覺本理也理ノ靈覺ハ至テ明ニ至テスミヤカナリ故
ニ感トノミイヒテ知覺トハ云ガタシ至テ神靈ナルが故
ナリ聖人ハ人ノ神明ナリ平人ハ聖人ノイミダヒラケル
ナリ禽獸魚鳥草木ハ氣ニヨリテ質偏ナル故ニ靈覺
ニブシ故ニ未ニナリテ氣質ノ靈覺ノミナリ本理ノ照ハ
ラヨハス人ハ靈覺全シ故ニ生ヲ知リ死ヲ知ル死生ニアラス
獸ハ生ヲ不知死ヲ不知死ト共ニ亡ブ獸ハ氣質ノ知覺ア
ツキ故ニ死ヲカナレム事ヲ知ノミ鳥ハ獸ヨリモ知覺ウ
スレイタミテ哀鳴スレドモ死ヲ恐ルハ心ハナレ大鳥ハ獸ニ

近キモアリ魚ハ感ノニアリテ知覺ナシ其中大魚
ハ鳥獸ノ知覺ノ如クナルモアハレコノ感ハ氣ハ感ナ
理ノ感ニ異ナリ草木ハ感モナシ質ノ生ノミナリ次
ニ知覺ノウスキヲ以テ不二ノニラ見ヘシ

始物解

一易云古者包犧氏之王天下也仰則觀象於天俯
則觀法於地觀鳥獸之文與地之宜近取諸身
遠取諸物於是始作八卦以通神明之德以
類萬物之情

伏羲ハ天地ヲ父母トシ天地ノ造化ヲ助テ天ニツイテ天下
ニ主タリシ神聖ナリ天地ヒラケテ聖人ト云名傳ハリシ伏羲
ヲ始トス伏羲以前ニモ聖徳ノ人ハ多カルヘケレ凡ハ人ニ教ント
思フ心ハヲヨラサルナリイカントナレハ人ニトヒナケハ明知モア
ラハス不孝子ナケレハ孝子ノ名ナク不忠臣ナケレハ忠臣ノ
名モナカリシ也是故ニ伏羲ヨリサキノ聖人ハ渾然トシテ

シラレサルコトハリナリ伏犧ノ時ハ天地開闢ヨリホド久レク
ハモ次第ニ多ナリ物欲モ安ツキザレテ人心ニミトヒ出来シカ
ハ伏犧コレヲカナシミタミヒテ教ト思給フ心アリヨツテミツ
カラ天地ヲ師トシ天ノ日月星辰ノ象地ノ風雷水火ノ時ヨ
ロシキ處ヲ見タミ春夏秋冬ノ時ニタカハス山澤ノ氣ヲ通
スルノ神ヲシリ変テ察シテ天理自然ノ文章鳥獸ノ羽毛ノア
マニモアラハレテ至誠無息ノ感スル處ヲ知玉フ近クハ我身
ニモトリ遠クハ万物ニモトツテ始テ八卦ヲ作タミ此八卦
ノ象ヲミルハフカクミレハ天地神明ノ德ニ通シ精ク察スレハ
万物ノコトハリ皆此中ニアリ此時ニテハ文字モ書物モナカ
リレ也此八卦文字經書ノ始ナリカサスルニハヲ以シテ六十
六卦ヲ見テ心ヲシテ天地万物ノ理ヲ察スルハ國ヲ治メ
下ヲ平ニス治乱共ニ通ゼスト云コトナシ

一作結繩而為網罟以佃以漁蓋取諸離

一 蓍カシラマウナル物ヲトツテ糸トシ繩トシムヒテ網ヲナシ
山野ニシテハ鳥獸ヲトリ河海ニシテハ魚ヲトルコトヲ教玉ヘリ
是ニニニ卦ノ象ヲ以作り玉ヒ又離ハ廉ナリ離ヲ目トシ其德
ヲ廉トスコレアミノ兩目相シガテ物ノ此ニシクノ義ナリ
一包犧氏没神農氏作斲木為耜耨木為耒耨之
利以教天下蓋取諸益
伏犧ト神農ト同一万七千七百八十七年也ソノ間女媧氏
ヨリ無懷氏ニテ十五代ハ知テ其外ハシラレス有德ノ君ノミ
イ、傳ヘタルカ神農氏木ヲケツリ其サキシトクシテ耜ト

ナシ木ヲタハミノ耒トシ柄ヲナシ是ヲ以テクサキリテエツオコシ
タ子ニキツフル事ヲ教タミリ是^ニ卦ノ象ヲ見テ作
タミ又震巽ノ二体ミナ木ナリ益ノ象ニトル風雷ハ相助ケ
テハケスモノナリ耒耜ノ二木相助テエツ起ス是ナリ耒^{スミ}耜^ハヨリ入
テ下エツウゴカレヲコス風ハイリ雷ハウゴク上入下動ハ益
ノ德ニトレリ故一雷風ヲヨリテ雲ユキ雨ホトコス處ヲ見
タミヒテ農具ヲ作テ耕作ヲ教タミフニ耒耜^ヲ始トス天
下ノ益ハ耕作ノ事ヨリ大ナルハナレ耒耜^ヲ本トス益ノ義
ナ故ニ天施シ地生ス與時偕行トイヘリ天地人ナラヒ益アルモ
ハ耕作ノ業ナリ故ニ民ハ國ノ本ナリト云古者ハ木ヲケシリ
テ耒^{スミ}耜^ハニ作リレカトモ後世ハ人ノカモヲトリ木ノ性ヨクナリ
タル故ニ柄ハカリ木ニテ作リ金^{キン}鉄^{テツ}シキタヒテ作カヘ
國天下ノ平治シテ長久ノ政ヲナス道理モ此^ニ卦ニ明ク
見タリ^ニ三ノ三陽^ノ陽損^ニテ^ニ三ノ卦トナリ^ニ三ノ三陰^ノ陽益
ヲ^ニ三ノ卦トナル此風雷ノ二卦ヲカサ子テ天下國家ヲ
利益スル仁政ノ象ヲ見タリイカントナハ上ヲ損シテ下ヲ
益ガエハナリ或同上ヲ損シテ下ヲ益ヲ益トスルハ何ノマ
ズ上ヲヨリ下タルモ時ハ乱レ七ブ損コレヨリ大ナルハナレ上實
素ニ下豊^{ユタカ}カナル時ハ國治天下平ナリ益コレヨリ大ナルハナレ
同上ハ人ニシテ下ハ衆多ナリ上ノ財用普^フクホトコレスクフ
ニ不足又儉^{ケン}紉^ニノシキテハ何ノ世ニモ下レタカハスト見タリ聖
代ハイカニシテ能ホトコレイカニシテ儉紉ノ法立玉ヘルマ云
仁者ハ不富トテ聖賢ノ君ハナヲ以テ財用豊ナラヌ
ホトユシスクフコトアタハズ只ホトコサスレテ上ヲ損シ下ヲ

益ノ政アリ上無欲ニシテ物ヲ蓄ヘアツタヘバサハ財用ヲ
ツカラ下ニ散シテ下ノ心上ニアツテ服スルモノナリ人心ノ
帰眼スル益是ヨリ大ナルハナレ是ホトユサスレテ上ヲ損
シテ下ヲ益ニアラスヤ無欲ニシテカサリナキヲ質素ト
云上古ノ風俗ナリ如此ナレ治サルニ平カナリ此時ニ天
順ニシテ五穀ノ多コト水災ノコトレ故ニ民不仁ナル者
ナクウエニ及ブ者ナレ人々無欲ニシテ足コトヲ知レリ
シヨリ起リ盜賊イツレノ所ニカ出シヤ心法治道
ニ無欲ヨリ先ナルハナレ無欲ナルトキ心静ニシテ靈明生
義禮知信ノ性自然ニ照スモノナリ此心法ヲ知テ用ルハ
スクナレ民ノ如キハアノ子ク教テ知ルコト不能タ、政ヲ以
ハ文章ハカサリニ進シ然物ニ至ルニ多ナリヌカサリ過
ハ欲生シ大者長スコニシイテ禮儀ノ則アツテ不
ヲフサクモノナリ是ヲ名ツケテ式ト云此式マ時處位アリ
其人ニアラサハ語カタレ後世禮儀ノ則時處位ニ不
奢欲ノ源ヲフサカス當然ノ式ナクシテ奢者ヲオサレ儉
ヲナサレメントス大海ヲ手ニテフセクタトヘノ如シ同其礼
儀ノ則ノ當然ナル式バイカ、云予其位ニアラス亦時ニ
アラス知ト云凡云ベカラズ 問今質朴無欲ノ風俗トナラ
ハ農人ハヨカルヘシ然凡數十年ノ奢トカサリニヨリテ職ヲ
立タル工商ハ幾万人ト云數ヲ不知男女妻子共ニウエニ及
ベシタト古者ノ幾風ナリトモ數多ノ者困窮ニ及ビナハ仁
政トハ云カタカルヘキカ 云是以時處位ノ至善アリ一

人モ困窮ニ及者ハナキマウアリ 同尤様ノ事ニ上ノ

タクハ多カラテハナリカタカルベキカ 云仁者ハ上ヲ損シ

下ニ益ス故ニ不富ト云ハ身ノ為ノ財用ナキヲ云益ノ時ハ

天下ニ財用ミナクテ多モノナリ財用ト云ハ金銀錢等

ノ事ニアラス金銀多トキハ却テ天下困窮スルモノナリ

真ノ財用ト云ハ五穀ノ多トタキキ新材木麻綿等マキキ民生日用

ノ物ヲ云ナリ益ノ道十年ニ及テ行ハル時ハ五穀アツリア

リ是ニツイテ四時ノ理ニ配イテ大身小身共ニ我一年ノ財

用ヲ四ニ三分シテ其年ノ用ヲ達シ一分ヲタクハトス是

天ノ春生シ夏長シ秋ミノリ冬ニ時ノ造化ハカクシサス来

歳ノ陽生ヲタクハユルニ合ス如サスル時ハ九年ニテ三年ノ用

アリタリ三十五年ニテ十年ノタクハアリ是ヲ以テ不時ノ用ニナ

ルナリタリヒイカニ大旱大風洪水火災ノ變ニアリテモ民不饑

夷狄ノ難アリトモ軍用乏キコトナレ天下ノ為ノタクハナ

ハ多トイヘトモ一人ノ富トイハス君子ハ心ヲ洗ヒ小人ハ其樂ニシ

樂テ外ノ願ニナレ益ノ道至リ 同し天下ニ奉行

職諸侯トシ金銀多トシトモ時代ハ天下トモナレ

み不取時代ハナリテ天下困窮セシ事ナリトモナレ

ハ上無欲ナリトモ財散ナリ有欲ナリ財散ナリトモ

ナレ云道ナリ代ノ風俗ハ行職キョウシヨクノ欲トモ欲ニ取

ト不取トモ欲ナリテ取ナリトモナレトモナリトモナレ

ハ其人ハナリトモ莫大ナリ事ナリトモ奉行ノ取ナリ

事ナリトモナリトモ事ナリトモ何ナリトモ振フル舞マユナリ

信シ奉行ノ用ナリトモ事ナリトモ金銀トモナリトモナリ

トモナリトモナリトモナリトモナリトモナリトモナリ

一も十倍百倍の貴山系を有るなり又其奉行へ出入の
 者よあましくくまひをひすきこむ一人取らば十倍百倍つ
 いゆるとつり也是より奢りて奢目こよ長とまは諸國
 の士民の膏澤一而みつきて天下困窮する者なり
 吾京めく大原八瀬に薪紙賣してあま紙こころり
 八瀬大原れ山内のは好め民家とくわしあれさう
 而も今出川乃ほさる西八室町色をて少乃同紙さる也
 とも此薪じりともあひよあれ伏見よりたせも
 上る本とも買とまてりく上りまは多事よゆれふの
 なるじりより今にきて八瀬大原に柴薪つく事
 ありとも八瀬大原乃在而紙多くして京へ紙をい
 ちりいふは天下の貴なり其微は數十坪の地より上る
 多しとも天下の貴なり其微は數十坪の地より上る

むゆくして奢長し諸國乃困澤とくもかりは
 あり是益めあはるる
 也天下れ困澤とくも剥盡し
 之のうしれ困澤をもくは盡しわふ四海困窮を
 是無歎とくもは様なりとも道と知るもく有歎し
 一とあまり多ふもあはるるてゆりり都々く通縁自
 由なるはれもむ歎あはるる財用とわのしりとも剛惡を
 ともくは奢てと歎なりともはスーカス
 日中為市致天下之民聚天下之貨交易而退各得
 其所蓋取諸噬嗑
 聖人天下ノ民ヲ見タマフニ有餘アリ不足アリ生ヲ養ノ道全
 カラス
 ノ象ヲ見玉フニ口中ニ物アリタイアハストキハ味アリ

テ生ノ養食トナル又卦ノ德ヲ見タヘハ上明ニ下動ク是ニヨリテ
日中ニ市ヲナレ天下國々所々ニツイテ人ヲアツメ有トコロノ物ヲ以
テ無トコロノ物ニカヘテ各其生ヲ養フコトヲ得セシメ給フ五穀ア
ル者ハ魚ナレ魚アル者ハ五穀ナレ交易スル時ハタカヒ用ヲ達ス
農業ヲ事トスル者ハ鋤カマヲ造ルニイトナレ鋤鎌ヲ造る者
ハ耕作ヲカスル事アタハス故ニ農人ハ易ルニ五穀ヲ以テ鍛
冶ハ農具ヲ造リテタガヒニ交易シテ各其所ヲ得タリ
万物皆如此又農人職人自来テ易ルニイトナレ商人
コレヲ買取テ相通ス^{三三}ハ上ヲ離ニレ下ヲ震ニス離ハ明
ナリ日中ニトル震ハ動ナリ市ニトレリ上明ニ下動ク噬嗑
ノ義ナリ又上明ニ下動ハ有道ノ世ノ象ナリ上道アリテ

明カニ進メサレ天下並ヲナレ戒メサレ凡惡ヲナサス上ノ好ク
マフハ仁義禮智信ノ德也惡ニタマフハ不仁不義不禮不智
不信ノ凶德ナリト人皆心ニ通シ知故ナリ其上闇キ處ナラテ
ハ惡ヲナサス盜賊モ夜ヲ好ミ不義ヲナス人モ夜ヲ悦ビ狐狸
蚊蚋ノ類ニテ夜ヲ得テ出ルカ如ク天下道クテハ種々ノ小
人惡人出ルモノナリ聖主賢君ノ政ハ何ノ勞スル事モナレタ道
明ニシテ上ニ位シタマフハカリ也日月ノ天ニカハリテ天下人其
處ヲ得テ用ヲナスカ如ク下動ハ人々其所作ヲツトメテ動ナ
リイソカハレキ動ニアラス人ハ動物トイヘルモ此心ナリ上明ナ
レ天下人皆真實ニシテカサリナクツライナレ名利ナク
便利ナレ故ニ夙ニヲキ夜ハニイ子テ善ヲナレテ不已無
用ノ世事ナキ故ニ靜ニシテ樂メ善ヲ爲ト云ハ人々ナスヘ
キ事ヲナレテ名利ノミレリナキヲ云如此ナレハ天下ハ治

メサレトモ平力ナリ 噬嗑ノ道至リ

神農氏沒黃帝堯舜氏作通其變使民不倦
神而化之使民宜之易窮則變變則通
是以自天祐之吉無不利黃帝堯舜垂衣裳而
天下治蓋取諸乾坤

神農ヨリ黃帝ニテノ間五百餘歳又黃帝ヨリ堯舜
ニテ三百餘歳ナリ天下古今ノ体ヲ見レハ大方五百年ニハ
大變シ五十年ニハ小變ス其變ニ通レテ時ニヨロシカラサレハ
人民退屈シテタルモノナリソレヨリ色々ノ惡事モ生シ
風俗ノ乱トナルモノナリ黃帝堯舜ノ時ハ伏羲神農
ノ時ト天下ノ人情時變大ニカハレリ故ニ其變ニ通レテ時
位ノ宜キヲササレメタマヘハ人民善ヲ尊ニ進テ退屈セザリシ
ナリ天地人ヲ一貫ニシテ万古一日ナルモノハ誠ノミ古今テカハリナ
モノハ五典十義ナリ禮式法度ハ時處位ニヨツテ變通シ
テ定ミラス神而化之トハ聖人ハ過化存神ノ妙アリ神明ノ
德アル故ニシトサシトモ天下ヲソレ賞セサレトモ人民ス、日月
ノ照臨シ流行スルカ如ク恐テ愛シ日日ニ善ニ化シテ不知
易ノ理ヲ以テ見レハ万事キムリテ行ヒガタク爲カタクナル時必
ズ變ス明王賢君ハ其時運ト共ニ變通シテ可行可
爲易知易從政教アリ世ノ中キハミル時ハ多事多物ニ
シテ煩シクナルモノナリ此ヲ變通シ宜クスル易簡ノ善也
易簡ナル時ハ長久ナリ易簡ハ即天地ノ德也民ノ父母
タルノ道ナリ故ニ天ノ福アリテ吉ナリ民ミナ其利ヲ利ト
ズ黃帝堯舜三聖ハ頭ニ冠ヲ著シ身ニ十二章、衣

裳ヲ服シ日々南面ノ位ニシテ琴瑟ヲ調樂ミタマフ
分リ也カレ臣君子ハ其心ヲツクレテ下ヲメクミ小人ハ其カラ
盡テ上ニシタカヒ君ハ首ノ如ク臣ハ手足ノ如ク諸侯ハ弟ノ如
民ハ子ノ如ク無事ヲ行ヒ無為ニシテ成コレ徳治ノ至ナリ天
不^{スモイハ}言而四時行百物生天^ナ氣クタリ地^ナ氣ノホリテ和スル
ノ^ニ天^ナ氣クタラス地^ナ氣ノホラサル時ハ四時不行万物不^レ生
上ノ心下ニクタリ人情時變ヲクハレク知テ惠ミノアマ子キハ
天^ナ氣ノクタルニ取乾ノ道ナリ下ノ心上ニ^ナ帰^ル眼^ミシテタカハサレ天
下ノ事ナラスト云コトナキハ地^ナ氣ノノホルニ取坤ノ道也臨^ミ下
以^テ簡御衆以^テ寬^ミコレ乾坤易簡ノ徳ニトル也日本ニテモ王
代ノ昔ハ易簡ナリ仲哀^{ナリ}天皇應神^ニ天皇ミツカラ矢將
トナリテ九州ニテクタリタマヒ甲^カ曹^{サウ}ヲ枕^シトシ山野ヲ家トシ
タマヒタルニテ易簡ナル事知レタリ遠國ノ山賊ニテモ天子ヲ
大切ニ思奉リテ何ニテモヨキ物アレハミサケントテ都^{ミヤコ}へ上レ
リ日^{ヒト}南北向ノ暄^{ホクカラ}ヲ王ニササゲント思ヒ^{ムカレ}昔^{ムカレ}物語^{カトリ}ヲオモカナル
事ニミテ笑ヘトモ王化ノ至リ感スルニ堪^タタリ天氣クタリタ
ル事名モナキ一草一木モ造化ノメクミニモル、事ナキカ如ク
奥山ノ^{シラ}賤男^{シラオ}賤女^{シラメ}ニテモ王徳ノ仁政ニアツカフスト云事ナシ
上ノ下ヲ見タミフ事子ノ如クナル故ニ下ノ上ヲ見奉ル事父母ノ
如シ仁政トテ人コトニ物ヲタミハルニ非ス井^イホリテ水ノミ田ヲ
タカヘレテ食ス帝徳ノ恩ハ何カアルヤトイヘル信仁政ナリ
無道ノ代ニタカヘセトモ食ヲ得ス婦^メハ織^{オリ}トモ衣ヲ得ス却^{カサ}
テタカヘサスヲラス民ヲタミサル者衣食ニ飽^ウ満^ミセリ天下
ミナ耕^ウシテ食^クシ織^{オリ}テ着^キ工商ハカヘテ食スイトミナケレ

居セハくニキ事ナク貪ナレ衣食之ニカラサル政道大
ナル徳ナリ上ニ入リ民ヲ子ノ如クスル仁心厚ク無欲ニシテ
恭儉ナラテハナラザルニナリ帝堯四海ノ主ニシテ
茨キラス楠柱丹スラス黒木作リカマフキナルハヨキ教
ナリ日本ニテモイニハカクノ如クナリト見エテ天照皇ノ御
宮殿ハカマフキナリニカルニ後世モロコシ秦ノ始皇カ惡政ナ
リシ咸陽宮ノ殿ヲ移テ大内裏ヲ作ラレタルハ大ナルアヤ
リナリ王威ノヲトロエタル事ナリ 同天下ノ廣ヲ子ト
シ惠ミタニハ琴瑟ヲモテアソビタマフイトニハアルニキヤ
云時ナリ禹ノ水ヲ治タニシ時ハ婦ヲメトリ給ヒテ僅ニ四日ナ
リシニ帝ノミエトナリヲウナテ出タニヒ天下ヲメグリテ外ニ事
居タニヘリハ年ノ間ニ三度ニテ我門ヲ通ツル門内ヘ入タニ
ハス御子生レテナキタマフヲ聞タニヒテモ門ニ入テ見タニハス子ト
モシタニハサルカ如シ八年ハ程久シキエト也タトヒ二年程カ事
ナリ凡我家ヲ過ルトキハ内ニ入テ五三日ノ休息ハアルヘキコト
ナリシニテコソアラス凡入テ妻子家内ノ安否ヲ見タニフホ
トノ事ハアルベキ事ナレトモ天下ニ水アフレテ人ノ居所不定コト
ヲ憂タニラ事我子トモノ多ク流浪スル如ク思ヒ給ヒテハ
クモ御心ニイトミナカリシ故ナリ八年ノ間冬トナク夏トナ
水ヲワタリタニヒ故ニ御手足ニ舁アカリアリト云リ
其時何ノイトミアリテカ琴瑟ヲ調ニヤ其後水ニ海ニ切ヲ
トシ人民居ヲ安シ五穀ミノリシ時ハ天下ニナ樂ヲ得タリ此
時又イニタ心モトナキトテ國ヲメグリ代官ヲ下シ諸役人ヲ召
ヨセ朝夕念ヲ入スルトキハ人民其事ニツカハレテ耕作ノイトミナク

事忙^{イシカ}シテ父母妻子^{サイレ}をく^ト養フ事モナラサル様ニ^ニ然^ニ然^ニ時ハ色々ノ惡事モ出來^{イカリ}偽^モ生シ風俗アレクナリテ洪水^{コタスイナシ}難^ニニ越^スヘシ洪水ハ人身憂ナリ風俗ノヨカラサル心ノ憂ナリ人
 民ノ難^ノソイテユタナル時ハ肝要ノ事ハカリヲヨクレテ^ニ役々ニヨキ人ヲソナヘヨキ教ヲナレテ後上タル人ハ無^グ為^イニ^ニ琴瑟^{キンシツ}ヲ樂ミタミヒ小事ハ無事ニナリ大事ハ小事トナルマウニ下知
 法度ユレ^トテ位レタ^ニハ天下太平ニ^ニ貴賤^{キセン}上下共ニユタカ
 丸モノナリ天ヲ見レハ日月星辰ノ四象ハカリニ^ニ晝夜^{チウヤ}四時行ハ
 二カ物生ス地ヲミレハ水火土石ノ四靈ハカリニ^ニ雨露霜雪風雷^{ロウロウソウフウライ}
 時ニイタリテ万物育ス上ニ日月星辰カ^リ下ニ水火土
 石ツラナル衣裳^{イロウ}ヲタレタル象ナリ黃帝^{ワウテイ}堯舜^{イウシュン}衣裳^{イロウ}ヲ
 名テ無^ニ為^イニ^ニ天下治^ニリ^ニ天地ト德ヲ合セタ^ニフ故ナリ
 夫生ト^レ生ルモノニハ必ス生樂アリ正キ^ニヨト^ニ樂^ニサレ^ニ邪^ニナ^レ樂
 ミ出來モノナリ無道ノ時凡夫ノ樂トスル^トハ或ハ心ヲ乱リ
 或ハ身^シ命^{メイ}ヲ縮^シメ病ヲ生^レ或ハ氣^キ隨^ズニナリ或ハ家財^{カサイ}ヲ失
 或ハ奢^{コソリ}或ハ吝^{チカ}リ或ハ家ヲ亡^レ或ハ人ヲ損^レ下ヲ虐^{ゲキ}スル^ニ及
 ノ樂ミ多^シコレヲ俗樂ト云ナリ欲ノコノムコト^ニ故^ニ樂ノ様ナ
 レ流^レ蕩^ケテ心クラクナリ或ハサカダチモトリナト^レ却
 テ大ナル苦トナレリ聖人ハ此人情ヲ知タ^ニフニヨリ國天下治
 リ無事ニ^ニテ人民生樂ヲナス^ニヘキノ時ニ至^テハ天地ノ律^{リツ}
 呂^{リョ}ヲウツ^テ雅樂^カヲ作り正キ^ニ如^ニライ^テ樂ミタ^ニハ下ニナ
 コレニ化^レテ雅樂^カヲ好^リ或ハ糸竹ノ調^{テウ}シモテアソ^ヒ或ハウ
 タイミイナトス^レ雅樂^カノ風ハ淡ニ^ニテ甚面白キコトモナク
 又^ニアソク事モナシ是ニ深^{フカ}キ者ハ道德ヲ助^ケ浅^{アシ}キ者モ不知^チ

不識真樂ニ遊テ風俗衰ナリ惣ニテ君子ナラズ真ノ
樂ミハレラサルモノナリ樂ニスレテハ國天下ヲエタカニ治ルコトハ
ナラサルナリ故ニ樂メル君子ハ民ノ父母ナリトイヘリ亦古人云
有徳則樂樂則能久詩云樂只君子邦家之基ナ
リト云リ天下人上ノ樂ヲ以テ人々ノ樂トシテヨロユヘリ後世
ハ上タル人ノ樂ハミナ下々ノ困窮トナリ道德ヨリ出ルト人欲
ヨリ出ルト多カイナリ天下ノ人心正樂ナキ時ハ必ス淫樂才
ユルモノナリ天子諸侯公卿大夫娯樂ヲ好ム時ハ欲日々ニ
盛ニナリテ奢生シ士貧ク民困窮ス天下ニナリ娯樂ヲ好
テ人心邪ニナリ風俗ニタル終ニ乱世ト成生付正キ君ハ是ヲ
忘テ娯樂ヲセスレラサレハ正樂ヲモセス行義高ク和ナク
万事法度強ク俗語ノ石ニテキヲツメタル様ナハ諸人氣
ヲツメテ或ハ病者煩人多シ士民屈ニウツミテ其代ノカカリニ
ス氣ヲムシユトヲミナ世継ノ君モ先代ノカタキニヨリ諸人モウ
トミナイザル事ナハ上下屈ニ鬱鬱氣ヲハラレテ大ニムルコト
ナリ其正キト云モカタキハカリニテ和ナキハ禮樂カ子サル
故ナリ正樂ハ清風和氣アリ上タル人は是ヲ好トキハ心ユタカ
ニシテ下タル者は是ヲナス時ハ欲スナレ君臣父子夫婦兄弟
弟明友和樂ス或ハ時ノ貞ニ乘レテ系竹ヲ奏シ或ハ人
ニラヘテ靜ニ樂ム屈ノナハ恭儉ニシテ驕奢ナシ五倫和睦
スレノミユレ黃帝堯舜ノ衣裳ヲタテテ天下治ニルナリ禮
モ亦後世ノコトク煩シキ事ニアラス説命ニモ禮煩則乱
トイヘリ禮ハ恭儉ニシテ事スクナク和アルヲ以テ吉トス矣道
ノ世ハ禮ナキ故ニ貴賤屈ニ苦勞スル事ヲ不知マタ學者者

ハ跡ノ三見テ真ノ禮ヲ知サルニ格法ヲトメテ禮ナリトイヘ
リ故ニ世俗ヨリ儒道ノ禮ハナリカタキ事也ト思ヘリ今ノ世
ニモ時處位ニ叶タル真ノ禮行ハ上下貴賤凡ニ安堵レテ
心ヨリ体ユルヤカナル様ニ思ヘ候幼ノ戒ナクテモ享キ風
俗トナリ長久ナルヘシ

一 剡木為舟剡木為楫舟楫之利以濟不通致遠
以利天下蓋取諸渙

䷺ノ卦巽ノ木坎水ノ上ニアリ又巽ハ風ナリ木水上ニウカシテ
風フタ時ハ行ヘ車馬ノ不及處ニ至ル聖人はニヨツテ木ノ中ヲ
エリ産ニシテ舟トナシ楫ヲ作テ舟ヲユカシ帆ト櫓ト其中
ニアリ日中ニ市ヲナシテ交易ストイヘ凡安行ナリカタキ事
馬ノ及カタキ不通ノ所ハ舟ヲ作テ川澤湖水海岸ヲ度
ニ物ヲノセテ有無ヲ通セシム第一如此ノ不通ノ地ニモ教化

及テ道ヲ知シムヘキタメナリ

服牛乘馬引重致遠以利天下蓋取諸隨上古ハ
牛イマタ鼻ヲトサス馬イマタ羈勒轡ヲツケル故ニ用
ヲナサス是ニ至テ始テ牛ヲツカヒテ重ヲヒカセ馬ニリテ遠
キニ行ミナ其天然ニヨツテ其性ヲ逐シムルナリ

上ヨロコビ下ウツクハ牛馬ニル時ハ物勞レテ人安ス是下動テ
上悦フナリ又三六剛也三六柔ナリ剛来リテ柔ニラタル時ハ

䷌トナル牛馬ハカツヨシ然レテ入ニシタカヒツカハルハ是剛ノ柔
ニクタルノ義ナリ後世ノ聖人隨卦ノ象ト義トヲ見テ天下
利シタマフソレハ万物ノ靈ニシテ知アル故ニ人ヨリモ剛ナルモノ
ナレタカフナリ舟楫ヲ作ハ植物ノ材ニ隨テ河海通ス服牛

衆馬ハ動物ノ性ニ随テ道路通ス牛ノ性ハ順ナリ故ニ是
ノカフ馬ノ性ハ健ナリ故ニ是ニル牛ニモリ馬ヲモツカフコト
アリトイヘ凡第一ノ処ニヨツテアリトモニ遠シイタレテ天下ヲ
利スルナリ

一重門擊柝以待暴客蓋取諸豫

豫ハアラフカレメ備ルノ義ナリ舟車馬牛ノ利出来テ天下
ミチニテ通ス故ニ人民ミナ其処ヲ得其宜キヲ得テ悦
フ豫ハ喜悅豫樂ノ時ナリ人悦豫スル時ハ怠惰ノツイ
エアリ怠惰シテ備ナキ時ハ必ス難生ス其上四方道路ヒラキ
テハ邊境ノ禮儀ヲ不知者或ハ暴人ナトモ至ルコトアラシカ
故ニカ子テ門ヲカサ子柝ヲウツテ備ヲナス時ハ憂ナレ門
外ノ暴客ヲフセキ柝ハ内ニ怠惰ヲ戒ム上世ハ門戸ハ
雨ヲセクハカリニテ戸サス事ハナカリシナリ此時ニ至テ始
屋ノ戸ヲ開外ニ門ヲミフケタリ
大路ノ如シニ三ノ卦ノ内卦外三陽ヲサカリタルハ門ヲミフケテ
内安ク静ナルノ象アリ又外卦ノ二陰ヲ重門ノ象ニトリテ
一陽ヲ擊手柝ニトリタルトモ云リ外卦ハ震ナリ震ハ動ナリ
一陽内外ノ間ニツイテ動クハ柝ヲ擊手テ戒ムルノ義ナリ雷
出テ地フルフ天ノ春夏悦豫ノ時ニツイテ戒ムル理ナリ君
子治世ノ時ニツイテ武備ヲヒソカニミフケタリテモ此義ナリ
斷木爲柝掘地爲臼柝之利萬民以濟蓋取諸小過
上世ハ稀ニシテ五穀ヲ作り出スコトサレ多ハ木ノ實魚ナ
トラ食トセシカトモ次第ニ人多クナリ五穀ヲ作ルコトモ多カ
リシ故ニソレノ器ナクテハ民用多ク費テ養生ノ道全

カラス五穀ノ皮糲ヲトルニヤスルベキ器ヲ作ント思ヒ給ヒ

䷧ 卦ノ象ヲ見タヘハ上ウコキ下トニル上動クノ震ハ木

ナリ下止ルノ艮ハ土ナリ震木上ニウコキ艮土下ニトニル

木ヲ治ルノ象ナリ是ニヨツテ地ヲホリカタクシテ五穀ヲ入

木ヲケツリエニ入ニヨロフフトクシテウスツカシムハ皮ステ正味

アラハシテ万民養生ノ利ヲ得タリ耜耨ハ耕稼ノ始ナリ

耜ハ脱粟ノ始ナリ後世ニ至テ木ヲエリクホメテ臼トシ又エラ

子リナトシテ作レリ又米ハモミヲ脱スリ臼ヲ作タリ次

ニ五穀多ナリ人多ナルカ故ニ人用ノ速カナルヤウヲモトメ

也今モヤキ米ハミナトハ粟ヲトルモスカヲ取モ異ルコトナ

レ臼ニツキハマク食トス是上古臼杵ノ模様ナルベシ

軍中ニテカリ田トテ田ヨリイ子ヲカリ来テ其

食トスルモ同シムシロヲキセ水ヲカケ其上ニ土ヲカケ火ヲ

タキテムシテ食トス是上古鍋釜ナキ時ノ模様ナルベシ又

小過ハスコシキナルモノスルナリ小ハ陰ニトシ中ニ二陽ハカリ

有テ上下ミナ陰ナリ陰ノ多ヲ以テ小キナルモノ過ト云

陰ハ小人ニトシ陽ハ君子ニトシ食道ハ小人多カラテハナリカ

タシハ人内外ニミナテ食ヲ作テ君子ヲ養フノ理ナリ此

小ハ廉人ヲサス君子ハ在位有徳カ子テ云ナリ

弦木ヲ為弣剡木ヲ為矢弣矢之利以威天下蓋取

諸睽

睽ハソムクナリ乖ク者ヲ威シ以テ服スヘシ弓ハ武器ノ始

ナリ䷥ 卦ノ象上ハ離火下ハ澤ナリ火ハ動テノホリ

水ハ動テ下ル是ソムイテ和セサルノ象ナリ然レトモ睽テ

睽ハソムクナリ乖ク者ヲ威シ以テ服スヘシ弓ハ武器ノ始

用ヲナスノ道理アリコニツイテ弓矢ヲ作タマフ木ヲタ
ハメ強クカケテ弓トシ木ヲケリテ其サキヲトクシハツツ
ツケテ矢トスコレ曲レルヲ体トシ直キヲ用トス体用相求
クノ理ナリ又先ヘマシトテ吾前ヘヒク是又ソムキテ用
ヲナスナリ木ハニカリテ強ハスクナリ弓ハ立矢ハ横ナリマ
カリタル方ヘ不張シテソリタルカタヨリ引カヘシテ張ミナツ
ハイテ用ヲナスノ義ナリ重門擊柝ハ小盜暴人ナト防
ナリ大賊或ハ東夷南蠻西戎北狄ナトノ中国ヲミタ
ラシ爲ニ来リ又ハ諸侯ノ叛逆ナトハ弓矢ノ備ナクテ
ハ防キカタル弓矢ノ武具アリテモ威ナキ時ハ恐ルヘ
トナシ武具ヲ備ヘ武事ヲナラハシ武備嚴重ニシテ
威アル時ハ四方是ヲノシテ恐レシカスヘキノ心

コラス文事アルモノハ必ス武備アリ文事ハ仁政ヲ行
チ士民ヲナテ安スル事ナリ禮樂制度其中ニテリ武
備ハ文事ノ義ヲトケシ爲ニ國天下ノ警言固ナリ今神事
ノ大祭ニ^ツ過ガタメノアルカ如シ聖人ハ徳仁愛ニシテ神
武ノ威アリ其上ニ文武ノ業車ノ兩輪ノ如ク備リテ
ヲユタリナシ故ニ天下人恐テ愛ス夷蠻戎狄モ仁政
ヲシタヒ威武ヲ恐テ来服ス是シ四海一家ノ如ク中
國一人ノ如シト云又禽獸ニハ人ヨリモタケク力ツヨキ
物多シ兵器ナキ時ハ禽獸人家ニミハリ害スルユ
トアリ禽獸ヲトラサケ惡ヲオトスハ弓矢ノ徳ニシク
ハナシ作り初ニ弓モ木ニ作り矢モ木ヲケツリテ作レ
ル弓矢ニタヨリヨキ木アリタルナルヘシ万事一物

ノ始ハ質素ナル物ナリ夫ソムイテ用ヲナスコトハ弓
夫ノミニアラス暎ハ乖異ノ義ナリ天地暎而其事
同也男女暎而其志通也ト云リ亦上ニ火下
澤暎君子以同而異ト云リ君子ノ俗ニ交ルコト
取同ク心異ナリ是暎ノ卦ノ火澤体ヲ合セテ性同
シカラサルカ如シ

上古穴居而野處後世聖人易之以宮室上棟下
宇以待風雨蓋取諸大壯

上世ハ人ノ家屋ナシ冬ハ穴ニスメリ今山ノ南日向ヨキ所ニ石
ヲ多ミアケテ外ニモツツキツカノヤウニシテ中虚ナルモノアリ是日
本上古ノ穴居ナルヘシ上世ハ人ノ氣血健ニシテカツヨカリシ
ト見エタル俗ハ昔ニ氷ノ雨フリ名時此ツカ穴ニ入タルナトイ

ヘ居其始タシカナラス只穴居トミエタリ其ハ野處スト
云リシバエノ上ニカヤナトラシキテ居タルナルヘシ柴木ノ長
キヲ四方ヨリヒキヨセテ上ヲユイ中ヲ虚ニシ中ノ柴木ヲ
カリヌキ上ニカヤナトラカケ今ノイナグロ雉子トマナ
トノ様ニシテ居タルトキユヘタリ上古ノ柴ノイホリ是ナ
リ右歌ニヒキヨセテムスハ柴ノイホリニテトクハ本ノ野
原ナリケリトヨミシモムカシク傳テイヘルカ亦山中ニ住
居スル者ハ冬ハ岩ノホラナト出カケニカタヨリテ今ノ岩屋
ナトノ様ニシテ住居ハ木ノ枝ノヨキ處ニ又木竹ヲナラヌ
コトノコトクシテ上ヲラニイ鳥ノ巢ノヤウニシテ木ノ上ニ住
タリ上古ノ人ハ無病ナリ故ニ穴居シテモ濕氣ニアダ
ス野處巢居シテモ風雨ニモイタサレ居次第ニ世ノ中

自由ニナリ氣血ヨハク病氣生レテ死居レテハ濕氣
ライタミ野處シテハ風雨ニラカサル故ニ其時ノ聖人民
居ラサント思ヒ給ヒ ䷋ 卦ノ象ヲ見タミハ雷雨ヲヨイ
テミナミツレモ乾ハ下ニ安シ上ノ二陰雙ヘワカレテク多ク時
ハ下ノ一陽ヨシラタモツ是ニライテ一陽ヲ棟ニカタトリテ
サレヤケ上ノ二陰ヲ子ニカタトリテ双ヘフキクタル乾
三陽ノ下ニスクヤカニ立タルヲ柱ニカタトリ始テ宮室ノ
創ヲ作リタミフ是ニライテ人居大ニ壯ニレテ禽獸ト
異ルコト遠シ亦大壯ノ義ナリ
一古之葬者厚衣之以薪葬之中野不封不樹喪期
無數後世聖人易之以棺槨蓋取諸大過

上世ハ棺槨モナクツカラツキ木ヲウエ石ヲ立ルコトモナク
亦喪ニ居コトモナシ人死スハ廣野ノ人ナキ處ニツナリ其
上ニ薪ヲ積テ覆タルハカリナリホトナク朽失テ跡ナシ
精氣物トナリ遊魂變ヲナスコトナリニテ人死スハ魂氣ハ
モトヨリ天ニユキ魄体ハ土ニ歸スル常ノ理ニシタカヘルニ別
ヲナケク事モ哀情ノカキリホトナケクミナリ生死陰
陽晝夜ノ道ニシテ天理ノ自然ナレハタムヘカラスト、別ヲ
カナシメルミ其哀情ハ人ヨリテ厚薄多寡アリ上世ノ人
ハカサル心ナキ故ニ我心ノ誠ホトニツクセリ故ニ喪期數
ナカリシナリ夫死ニ事ルコト生ニ事ルカ如クス本意
ハムナシキカララズニ非ス吾モ精神コソ吾ナレ親モ精
神コソ親ナレ精神去トキハ形ハ住アラレタル古屋ノ
如シコノ精神ヲ明ニ人トイ、幽ニ鬼神ト云君ノ心ハ

思出 一質ニシテヘタラナレ是故ニ死ニ事ルコト生ニ事ル
カ如クスルナリ我身ノ死タルカラハ谷^ニ解^ニ投^ステトモ可ナ
リ^カ莊子我死大野ニステヨ天地ヲ以テ棺^ニ樽^トセシ
云レモ此心ナリ然レモ上古ハ生ル時モ屋ナカリシカハ
死シテモ棺^ニナレ後世ハ生ル時屋アリシカルユヘニ死シテ則
モ入ルコト理^ニ常^トト云ナカラ孝子ノ心ニシテ不忍トコロ
アリ空キカラトイヘトモ今ニテ父母トシツカヘタル人ノ歿ナレ
ロソカニモテナレカダレ生テ屋室アレハ死シテモ棺^ニア
ルキ義ナリ是又生ニ事ルカ如ク心也公ナレキカラニテ
ヲモ衣服セシメ棺^ニ樽^トヲ作テ厚クスルハ孝子ノ心ノ厚キ
ニ過ル大過ノ義ナリ又^ニ象^ヲ見タムハ澤^ヲ上ニシ
ホヲ下ニス^ニハ木ナリ又ハナリ澤^ハ土也木ヲ土ニイルハ義
ナリ是ニヨリテ棺^ニ樽^トノ制ハレリス又^ニハ悦也親ノカラ
ニシホ木ニシテ土ニキス孝子ノ心安堵スル悦ノ義ナリ
或同南軒張氏曰君子不以天下儉其親^於此而過^ラ
死^ハ害也丹陽荀氏曰^ハ梓^ヲ棺^ニ樽^ト所以使民^ハ養生^ニ送^ス
死^ハ無憾^ニ所以依^ル於人者過^ク厚也然^モ養生^ハ不足以當^ス
大事^ニ故取^ル小過^ノ之義^ニ而已送^ス死^ハ足^レ以當^ス大事^ニ故取^ル
大過^ノ之義^ニ厚^クカクノ如クナレ不及トコロヲモトメテ葬^ヲ
アツクスヘキ義ナリ董^ニ永^ニ力^ニ身^ヲウリテ一生人ノヤツコトナ
リテ親ヲ厚ク葬^{タル}ハコトニ天下ヲ以テ其親ニ儉^セサ
ルナリ大事^ニ當^ル足^レヘキカ云書^ハ主^ニ意^{アリ}時^{アリ}為^ス
ニスルコトアリ言^フニシテ信スル者ハツイエアリテ益^スクナレユ
クニ書ヲ信セハ書ナキハレカレトスリ其上言ハ

至賢トイヘ凡不同モノアリナツトキハ相難シ相争ニ
至ルヘ同キモノ仁義ナリ夫葬祭ハ家ノ有無ニカク
ト云リ生ル時モ飲食衣服宮室器物ニテ有無ニタ
カフ者ナリ何ソ死ノミ有無ニカナハレザルベキヤ小過大
過ハ卦ノカサナリヲ見テ象ヲトレリ小大ノ文字ニカハレ
アルス故ニ孔子モ禮ノ法ニカハリテ誠ノウスヲナシ事
ヲカナシニタミヒ禮ハフコリテ備ヘヨリハ儉ニシテ敬ノ
アルヲヨシトス喪ハ事物ヲサメトノヘンヨリハ哀戚情
アルヲヨシトストノタミヘリ君子ノ天下ヲ以テ其親ニ儉セ
サルコトハ大舜ノ父モレ無道ヲナシタル時コレヲ助カ為
サラス天下ヲ捨タラフ事ヤフレタルワラツツラスツルガ如
クカコクシタミヒテ負テノカレタミハントノ主意ナリ天下
ヲタニ親ノ為ニスツルコト易シ況マ其外ノ物ヤ然レモ親
ノ養ノ為ニ葬祭ノ為トテ象ノ有無ヲハカラス産業ヲヤ
フリ家人ヲクルレメ祭祀ヲ絶ラモカヘリニスト云ニ非ス古
命ノ父母ニ事タル者アリ情欲ノ父母ニ事ル者アリ夫
董永カ至孝ハニコトニ元情ノ及カタキ處ナリ凡夫幼
少ナル時ハカリ父母ヲタフ成人ニシタカイテ妻子ヲ愛
シ財寶ヲ求メ君ニ事テ位禄ヲ願ヒ朋友ニ外聞ヲ
思ヒ種種ノ名利胸中ニヨコタハリテ父母ヲ思フ心日
々ニウスレ生ヲ養食モ死ヲ送モ愛敬ト外聞ト共ニ相交
レリ然ルニ董永ハ親ノ養食ヲユタカニセシカ爲ニ妻ヲ迎ヘス
一家ノ産ヲ盡シテ生ル間ノ養食トシ死セシ時ハ其身ヲウリ
テ葬ヲナセリ金伴ノ精神親ニ奉シテ私ノ願ナスノ

ナリカキキナリ故ニ至誠神ヲ感ゼテ天道神女ヲ
アタヘ身ヲシテコレ其志ヲ好ミタヘナリ然レモ其行ニシ
イテハ情欲ノ父母ニ事ニ近キ貪ナラハ貪ホトニ葬ラナサ
ハコソ親ノ心モミロヨカルヘケレ身ヲウリテ葬ルハ分ノ義ニ過
タリ葬ニ身ヲウリ名ニテ先祖ヨリノ田地家財等ヲ
ユトクク平生親ノ養ノ爲ニウリツクシタル處ミエタリ是
メ親ノ性命明ナラハ大ニイタミキ事也タ、今日情欲父
母ヲ樂ニシメルニナリコレ厚ニ過ト云ノ主意ト時トワキ
ニサレハナリ古者始テ棺ヲ作タル時ハ山林多カリシカハ
目前ノ木ヲ伐テウチワリ箱ニサレ死者ヲ入タルハナリ
何ノ造作モナキ事ナリキノレヲタニ厚キニ過ルト云シハ
其時ニテハ質直ニシテ道理ノミナリシカ死者ハ至ニ歸
ルトナリキ其マ、地ニ葬シニ箱ニ入ハ厚ニ過ルトノ義ナリ親
ノ親タル鬼神ナリ空シキカラハ今ニテ住タル古屋ナレハウ
チステ、モ可ナリ親ノ住タル跡トナリ其上ニカク如クス是ヲ以
テ其時ニ厚キニ過タルト云リ後世ハ其本ノ心ト時トナリ考ヘ
ス次第ニ念シ入スキカサリヲ加ヘテ分限ニ過テナリカタキ
事ヲツクスヲ以テ厚ニ過ルト心得ナリ大ナルヤナリナリ又生
テ養ハ大事ニ當ルニ不足死ヲ送テ大事ニ當ルニ足ト云
モ葬ノ厚シ云ニアラズ凡夫ハ眼前ハカリニテ無^{ナク}^{ナク}耳^ミ無^{ナク}
眞^{マコト}ノ理ヲ不知ユニ何モ無トコロニ怠惰スル者ナリ生ル親ヲ
目ノ前ニテ踈ニスル者ハニナリ大方ハヨク養フモノナレ其
生付ヨクテ収シキ人ニ過タルトモ大事ニ當カタル其
至誠ノ德ハイマタ見エサルナリ親死シテ其鬼神ニ事ナ

ト誠アリ敬アリ幽明一貫ナル人ナラハ君子ト云モノ也レカラハ
國家天下ノ大事ヲ頼ニアツケテモタレカナラントナリ三日三
月期三年ナトノ作法ハ皆鬼神ニ事ル次第ナリ親ノ
精神体ヲハナレテ氣色ニエス音聲キコハサル故ニ別シカ
ナレハ實ハ死生不二也故ニ生時ハニ事ル禮ヲナレ死
時ハ鬼ニ事ル禮ヲナスナリ時處位ノ至善ヲ不知レテ有
無ノ分ニ過テ葬ヲナスヲ以テ厚ニ過ルト心得タルハ愚チ
リ愚者ハ何ソ大事ニ當ルニ足ヘキヤ夫禮ハ繼ヘキコトヲ
レ傳ヘキコトヲナスト孔子モノタヘリ今ノ學者者ノ厚キニ過
ルト云モノハ後世ニ傳ヘカラス子孫繼ヘカラス變ニ通セサレハ
民人禮法ニ退屈ス收キノ哀情ノ誠ニテモ事ノ調カ
タキニ失レテウスツナルナリ孔子喪ハフサメヨリハ戚ト
タマヒシ聖言ニ大ニタカヘリ其本ヲ不知レテ末ニカハルカ故
ナリ終ニハ西戎ノ佛法ヲヒキヘテ中國ノ道ヲトクヘタルモ
此ナツミニヨツテ也

一上古結繩而治後世聖人易之以書契百官以治萬
民以察蓋取諸夬

上世ハ人淳ニ事簡ナリレハ國家天下ノ政事ニツイテ大
ナル事ニ大繩ヲ結テヲキテト小キナル事ニ小繩ヲ結テ
定シナレタリ是ニテ事タリヌ後世ハ風俗次第ニ薄ク
事繁クナリテ欺キ詐ルコト眞リタル故ニ繩ノ政事ニ
テハ事トノイカタシ
三ノ卦ヲ見タムハ君子ノ道長シ小人
道七ヒナトス明夫ノ意アリ是ニツイテ文字ヲ作テ善
惡邪正ヲ明ニシ符節ヲ作テ真偽ヲタシタミヒレカ小人

ノ邪曲カクカクル處方レテ決去書ハ文字シ云契ハシレテナト
ノ類ナリ是文明ノ始ナリ君子澤ノ天ニホル象ヲ見タミヒテ
禄ヲホトコシ下ニ及サントス上ニ恩澤ニ足時ハ必ズ下ニナ是ニウ
シフモノナリ恩澤ニ下ニタタルコトハ仁者ヲ富シメテ國郡ノ上
ニ置ニアリ澤ノ天ニホル民ノ父母タルベキ仁者ノ君位ニ
アガリ恩澤ノ下ニタタル象也水ハ下ルモノナハ天ニホル時
ハ必ズ下ニタタル義ナリ此時必ズ小人クサマタケアリ故ニ明夫
ノ義アリテ明カニ邪曲ヲタシ決去ナリ

集義和書卷第七 終

以治平九年八月廿九日

里谷正左門町五十九番地

樂天堂佐藤了公好

藏書

